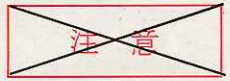


28．11．281800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７７９号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
　(1)　情　勢
　(2)　本日の活動成果
　(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
　(1) 本日の成果
　　活動概要
　(2) 明日の活動
　　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
　(1)　気　象
　(2)　暫定政府樹立までの主要結節
　(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　　日本隊に及ぼす影響
　(4)　部隊配置状況
　(5)　タスク現況
　(6)　警備の態勢

1　本文（要約）

凡例　赤字：変化事項

1　情　勢

(1)　全　域

ア　衝突解決合意関連

衝突解決合意は、安保理においては衝突解決合意が進展していないという認識を示されていたところ、先週２５日の定例閣僚会議において地域保護部隊の展開を無条件で承認した模様であり、今後、用地の選定や差出国に関する協議で進展があるものと思料され、ジュバの非武装化に関する協議の進展に期待

一方、南スーダン国内外における両勢力からの離反に関する動きは停滞しているものの、マシャル第１副大統領派がキール政権に対する抵抗及び数週間中のジュバ帰還への意思を示したことや、キール大統領がコンゴに所在する反主流派（マシャル派）戦闘員に対する恩赦を表明したことから、両勢力の動向には注視が必要

また、緊張状態が継続する北部へのオロニー中将の帰還の動きが見られるとともに、ユニティ州のベンティウ～リーアにかけて政府軍及び反主流派（タバン派）の部隊と反主流派（マシャル派）戦闘員との衝突が生起しており、注視が必要

イ　その他の情報資料

ケニアがＵＮＭＩＳＳからの１２月中の撤退を企図しており、歩兵部隊の再展開及び地域保護部隊への差出国の協議には時間を要するものと思料され、併せてＵＮＭＩＳＳのプレゼンスが減少することによるワウ及びジュバにおける治安状況の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での他部族への悪感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、新たなキール政権への抵抗を示す武装集団の台頭や西エクアトリアにおいて暫定政府に対する攻撃が活発化する等、その動向には注視が必要

凡例　赤字：変化事項

(2)　ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イェイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態及びエクアトリアー帯での武装集団による襲撃事案は継続するとともに、ディンカ族と他部族との緊張状態も生起しており、部族間の対立の大規模な衝突への発展には注視が必要

また、ロコン方向やイェイ方向への政府軍車両及び兵士の移動が継続しており、ジュバ南部及び西部の動向にも引き続き注視が必要な状態が継続

加えて、郊外の経路上ではＳＯＦＡ違反が継続しているが、ＵＮＭＩＳＳに対する攻撃や強盗は確認されておらず、そのプレゼンスの発揮は地域の治安の安定に有効であるものと思料

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、昼間の武装強盗の発生、夜間の集会等禁止令の下令、政府軍宿舎に対する銃撃等、不安定な治安状態は継続しており、報道に対する過敏な反応も確認されていることから、今後の市内の状況の変化には注視が必要

また、市内では、米国による安保理への制裁に関する提案に関連する、反ＵＮ、反米国デモ及びＳＯＦＡ違反発生の可能性は否定できず注視が必要

ＵＮハウス周辺では、非武装地域の設定後から発砲事案は減少傾向にあるものの、依然として昼間の発砲音が確認されるとともに、米国による安保理への制裁決議にキール大統領が含まれていないことに対するＩＤＰ内の不満や門限を破って＃１ＰＯＣサイトに侵入しようとする不良ＩＤＰも確認されており、ＵＮハウス周辺での小競合いへの巻き込まれには、注意が必要

(4)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においては武装強盗、ハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては昼間における射撃やＩＤＰの不正なＰＯＣサイトへの侵入が確認されていることから、近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、ＵＮＭＩＳＳ部隊や地元民が通常通りの活動を実施しているものの、引き続き注視が必要

ジュバ～マンガラ間は、特段の治安事象も確認されずＮＧＯが経路沿いで作業を実施する等、安定している模様

2　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮハウス地区及びＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫内へスコ補修及びＵＮトンピン地区内退避壕構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内（成果：６ｔ）及びＵＮハウス地区内における給水活動（成果：５ｔ）

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

(ｲ)　ＵＮハウス地区弾薬庫内へスコ補修

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区弾薬庫内におけるへスコ補修

(ｳ)　ＵＮトンピン内退避壕構築

施設器材小隊及び第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

(ｴ)　マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市内におけるマラム運搬

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

ｂ　情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内、ＵＮハウス地区内及びジュバ市内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における[redacted]への参加

(ｷ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における業者対応

(ｸ)　警務班をもって、ジュバ市内における重車両輸送支援

(ｹ)　隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務

(ｺ)　隊本部をもって、ジュバ空港及びジュバ市内における空港撮影の事前申請

(ｻ)　各部隊ごと、活動地域における第１１次要員への引継ぎ業務

(ｼ)　隊本部をもって、ジュバ市内ＣＣＣ孤児院における慰問品輸送業務

(ｽ)　隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内ＭＯＶＣＯＮにおける武器等空輸端末地業務

(ｾ)　隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内における車両操縦練成

(ｿ)　会計幹部及び通訳をもって、ウガンダにおける会計業務

エ　表敬等

(ｱ)　隊長及び第１１次隊長による、ＵＮトンピン地区におけるセクターサウス司令官表敬

(ｲ)　隊長及び第１１次隊長による、ＵＮトンピン地区における工兵課長表敬

(ｳ)　隊長及び第１１次隊長による、ＵＮトンピン地区におけるバングラ工兵隊長表敬受け

オ　各種行事等

後方補給部長による物品管理検査の受検

カ　国際機関等連携案件

な　し

3　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮトンピン地区内退避壕構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

また、主力第１波の東千歳駐屯地への前進を開始する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

ＵＮトンピン内退避壕構築

施設器材小隊及び第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

ｂ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内及びＵＮハウス地区内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力
　　な　し
(ｶ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における週工兵会議への参加
(ｷ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における業者対応
(ｸ)　各部隊ごと、活動地域における第１１次要員への引継ぎ業務
(ｹ)　隊本部等をもって、ジュバ空港における後方補給部長の送迎
(ｺ)　隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内ＭＯＶＣＯＮへの第１０次第１波要員送迎
(ｻ)　隊本部、第２施設小隊、第３施設小隊等をもって、ＵＮトンピン地区内における車両操縦練成
(ｼ)　会計幹部及び通訳をもって、ウガンダにおける会計業務
(ｽ)　第１０次要員第１波をもって、日本隊宿営地から東千歳駐屯地への前進

エ　表敬等
(ｱ)　隊長による、ＵＮハウス地区におけるＤＳＲＳＧに対する成果報告
(ｲ)　隊長及び第１１次隊長による、ＵＮハウス地区におけるミッション支援部長表敬

オ　各種行事等
　　な　し

カ　国際機関等連携案件
　　な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#１０	#１１		#１０	#１１
①	施設	ＵＮトンピン内退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	９		大型×２、散水車×１	[redacted]	
			１小隊			５	５			
②	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット	２		給水車×１		
③	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	ネパールＦＰＵ	２		給水車×１		
④		業務調整（人事）	隊本部（Ｓ－１）	０８３０～１６３０	ＩＤセクション	２		小型×１		
⑤		[redacted]業務調整（連絡）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	４	２	小型×１		
⑥		業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１２００	工兵課	４	１	小型×１		
⑦		業者対応（施設器材）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	ウエストゲート	２		小型×１		
⑧		広報活動	隊本部（広報）	０８０１～１６００	ＵＮトンピン内	２		小型×１		
⑨		車両操縦練成	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	ＵＮトンピン	１	１	小型×１		
⑩		武器等空輸端末地業務	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	１２	３	中型×１、大型×２ フォークリフト×２		
⑪		ＳＳ司令官及び工兵課長表敬	隊本部（Ｓ－１）（Ｓ－３）	０９２０～１６００	ＵＮトンピン内	３	１	ランクル×１		

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）

	広報活動
	車両操縦訓練

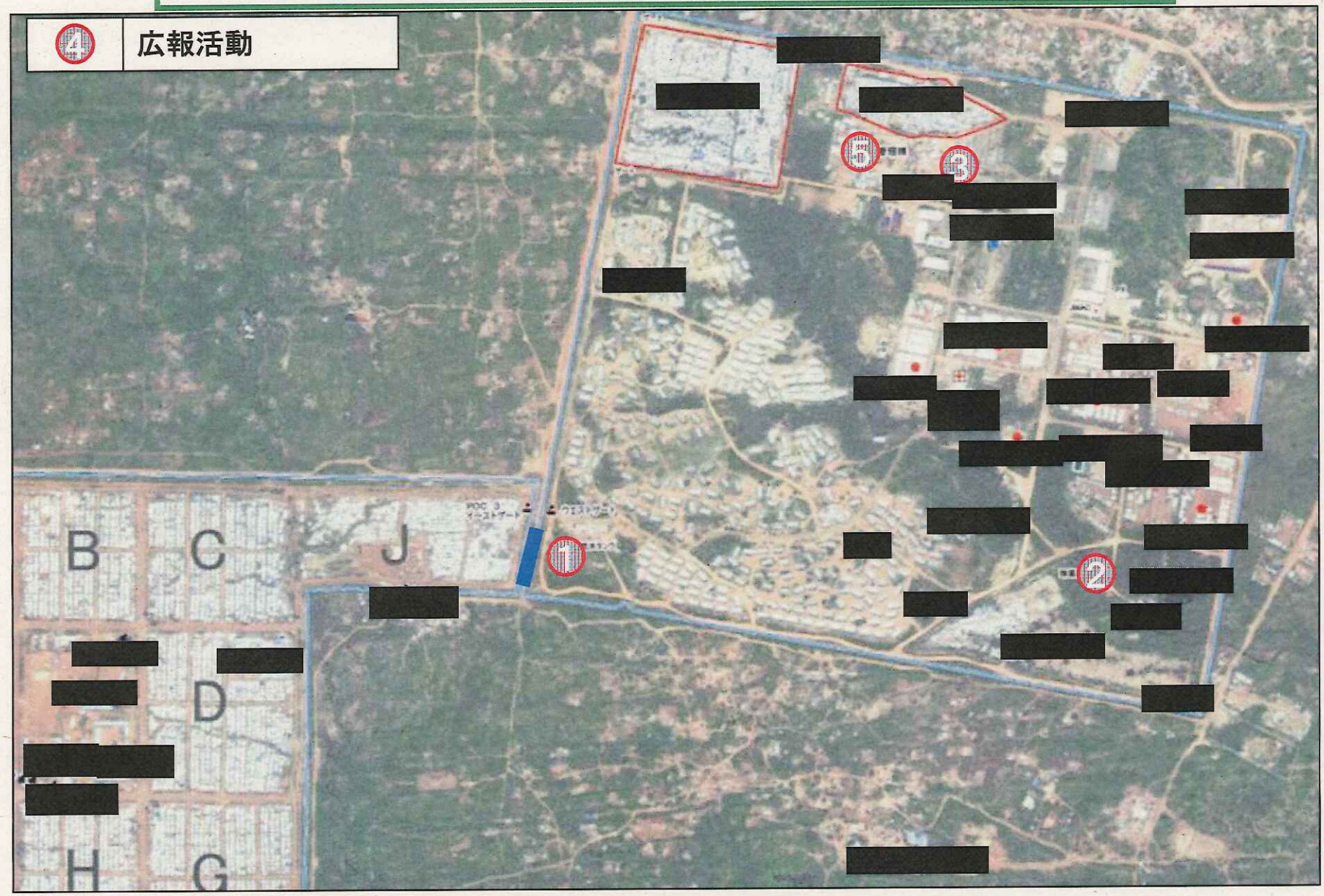
別紙第１－３

活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０８００～１６３０	ＵＮハウス西側	１０	６	高機×３、大型×３	[redacted]	
②		ＵＮハウス地区 弾薬庫内ヘスコ補修	３小隊	０８０１～１６３０	弾薬庫	５	３	高機×２、大型×２ 特大型×１		
③	その他	業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０８０２～１３００	工兵課	２	２	高機×１		
④		広報活動	隊本部 （広報）	０８０４～１６００	ＵＮハウス	２	２	高機×１		
⑤		給　水	補給班	０８０３～１２００	ＵＮハウス	２	２	給水車×１、高機×１		

凡例　ＵＮタスク

活動概要（ＵＮハウス）（４／７）



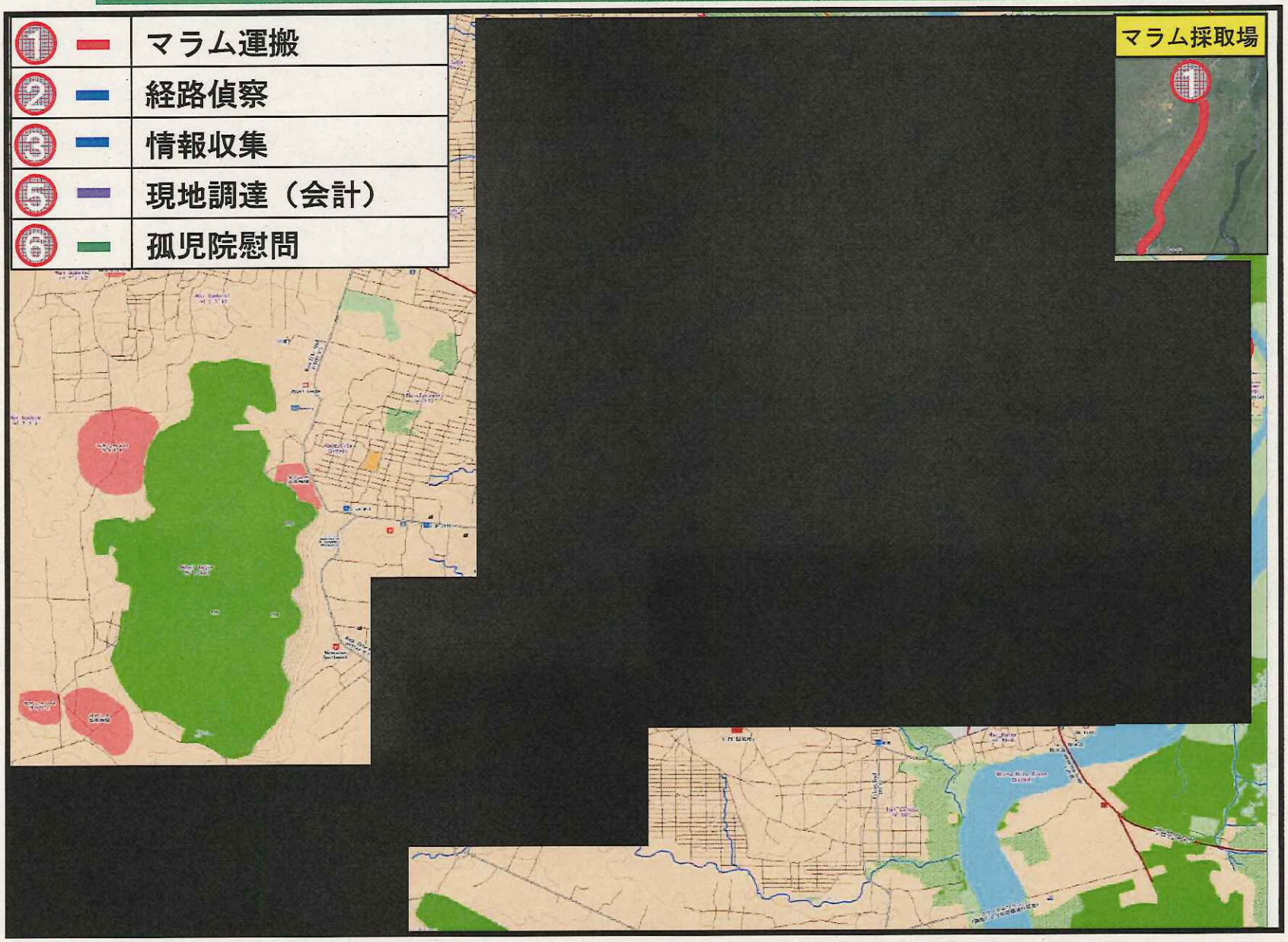
別紙第１－５

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#１０	#１１		#１０	#１１
①	施設	マラム運搬	器材小隊 １小隊 衛生班 整備班	０９００～ １６００	ルリ橋北側	6	6	高機×１、特大型×４	[redacted]	
②	情報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２）	[redacted]	ジュバ市内	[redacted]				
③		情報収集	情報班		ジュバ市内					
④	その他	重車両輸送支援	警務班	０７４０～ １５００	ビルファムロード	2		高機×１		
⑤		現地調達・市場調査	隊本部 （Ｓ－４）	１３００～ １６００	ジュバ市内	3	4	高機×１		
⑥		空港撮影及び報道対応申請	隊本部 （広報）	０８０５～ １７００	ジュバ空港 情報放送省	3	2	高機×１		
⑦		孤児院慰問	隊本部 （Ｓ－１）	０９００～ １２００	ＣＣＣ孤児院	3	1	高機×1		

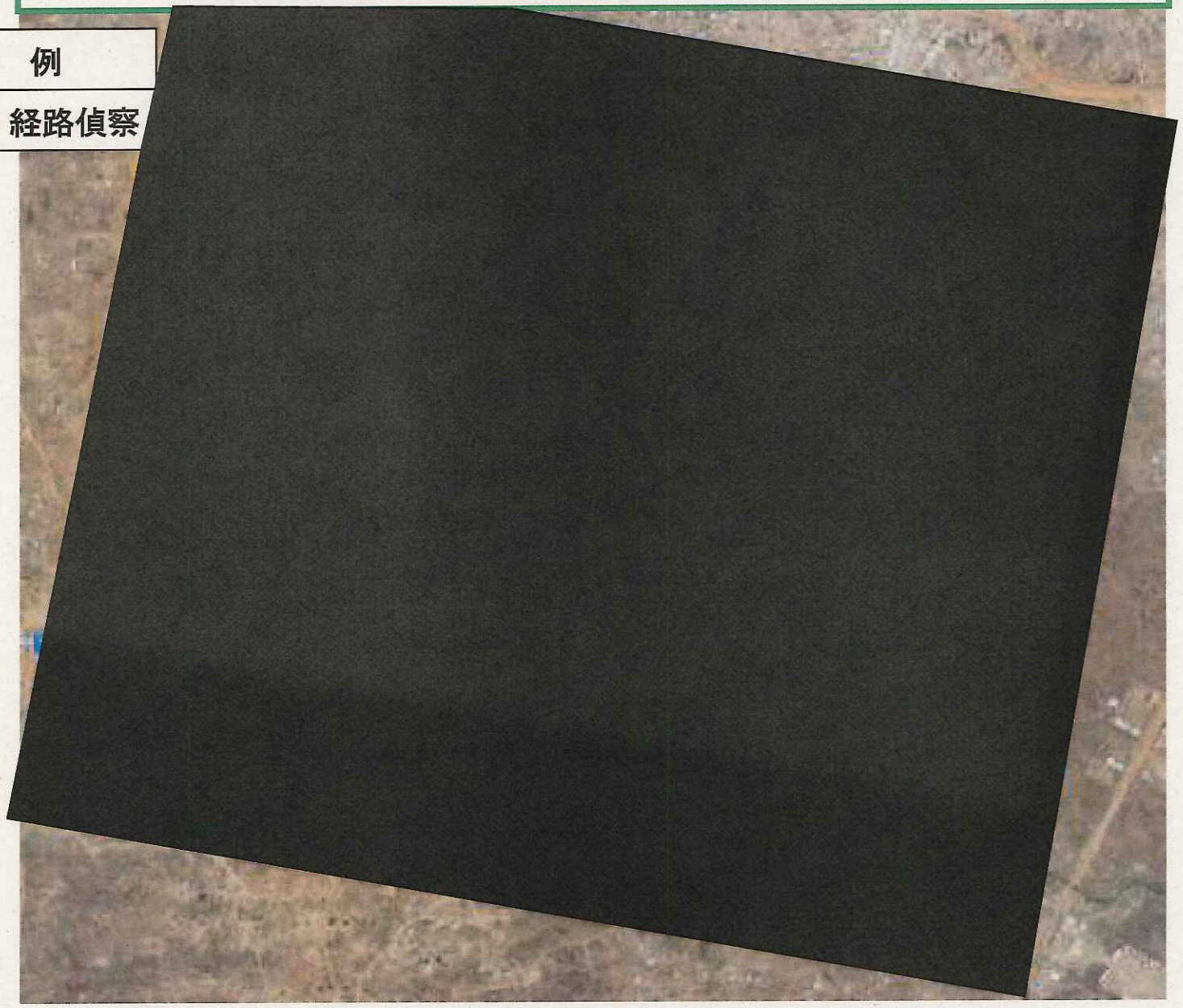
凡例　UNタスク

活動概要（ジュバ市内）（６／７）



経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）

凡　例	
▬	経路偵察



本日の活動成果

ＵＮトンピン地区退避壕構築

活　動　中
施設器材小隊【１１．２８　１１００現在】

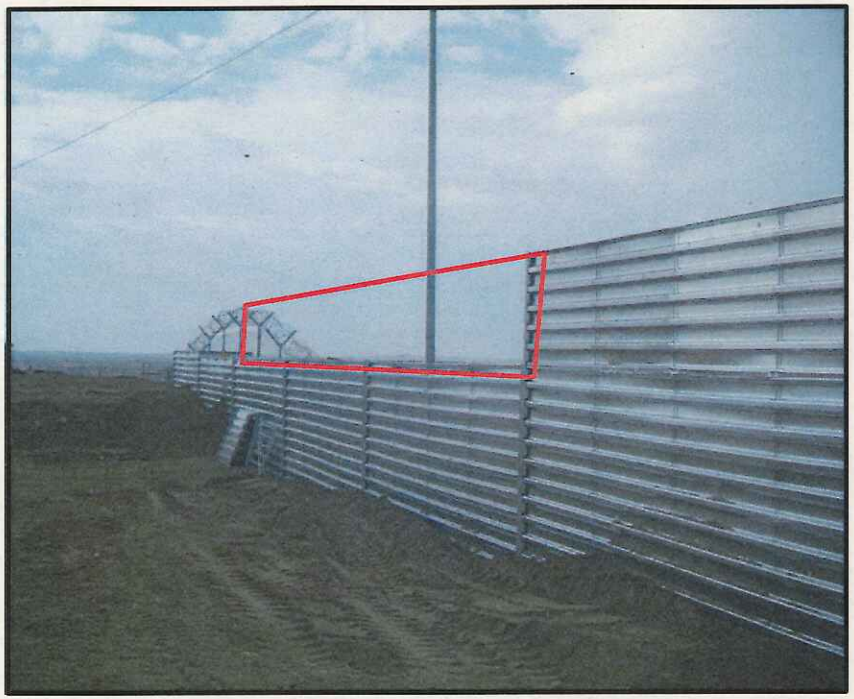
活　動　中
施設器材小隊【１１．２８　１６００現在】

活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	退避壕①工区二層目打設準備（配筋・測量）

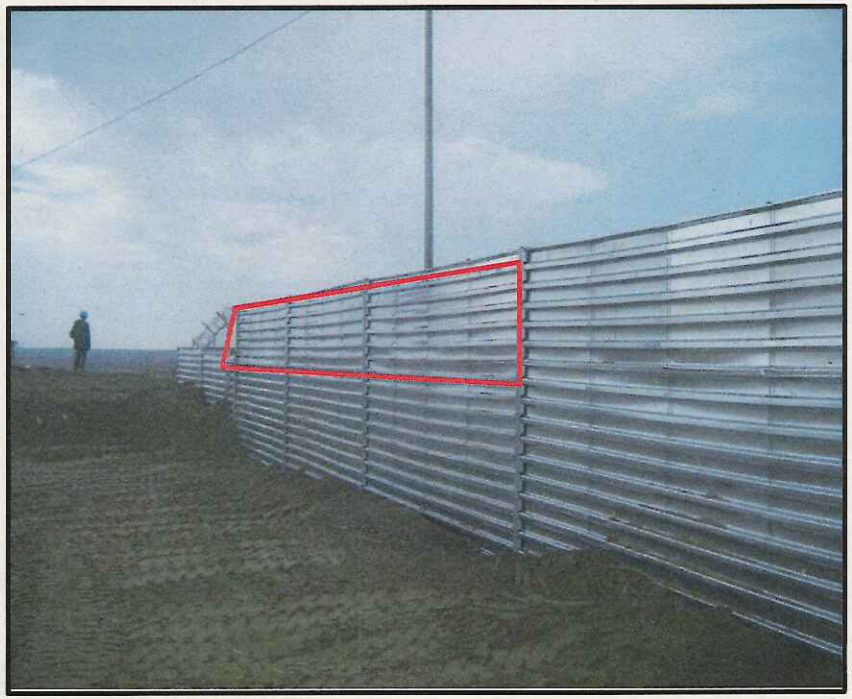
本日の活動成果

ＵＮハウス地区西側外壁構築

活　動　前
第２施設小隊【１１．２８　０９００現在】



活　動　後
第２施設小隊【１１．２８　１３００現在】

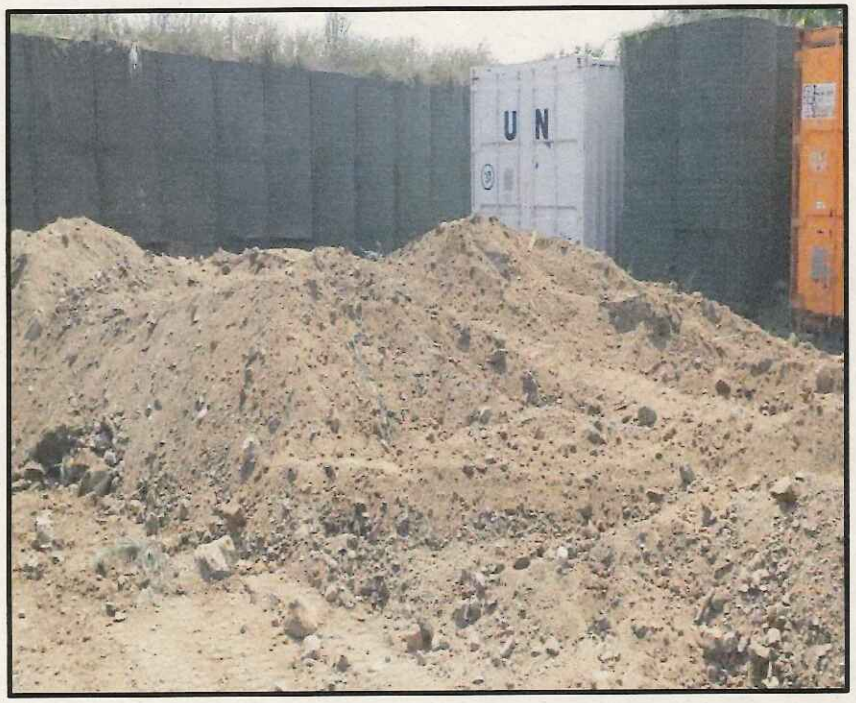


活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	・測量経始 ・ミフラム組立設置及び土入れ ・整地作業

本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫内へスコ補修

活　動　前
第３施設小隊【１１．２８　０９００現在】



活　動　中
第３施設小隊【１１．２８　１１００現在】

活　動　成　果	
進捗累計 [redacted]	・　土除去（ダンプ）

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
　　別紙第３「情　勢」
　　別紙第４「装備品等現況」
　　別紙第５「患者受診状況」
　　別紙第６「人員現況」
　　別紙第７「総括（評価）」
(2)　活動命令
　　別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
　　別紙第９「視察・来隊予定」
　　別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（１／１１）／Situation

別紙第３－１

凡例　青字：新規
赤字：評価

１　南スーダン全域の情勢

(1)　衝突解決合意履行に関する情報

■　２６日、ロムロ内閣担当大臣は、「南スーダン政府は、８月に国連安保理のマンデートで示された、国連平和維持部隊の増派を無条件で承諾した」旨の発言をした模様
（２５日 AP “S Sudan accepts more UN Peacekeepers with no condition”）

→　今後、地域保護部隊の展開地に関する議論が進捗するものと思料
また、増派を無条件で承諾していることから、アフリカ以外の国からの地域保護部隊への参入に関する議論も進捗するものと思料

(2)　衝突解決合意不履行に関する情報

1

2

3

4

5

[redacted]

情　勢（２／１１）／Situation

別紙第３－２

凡例　青字：新規
赤字：評価

(3)　その他入手した主要な情報資料

■　反主流派（マシャル派）報道官は、マシャル氏が今後数週間中に南スーダンに帰国する旨を発言
マシャル氏は南スーダンに帰国する準備をしており、反主流派（マシャル派）はその到着に備えている模様

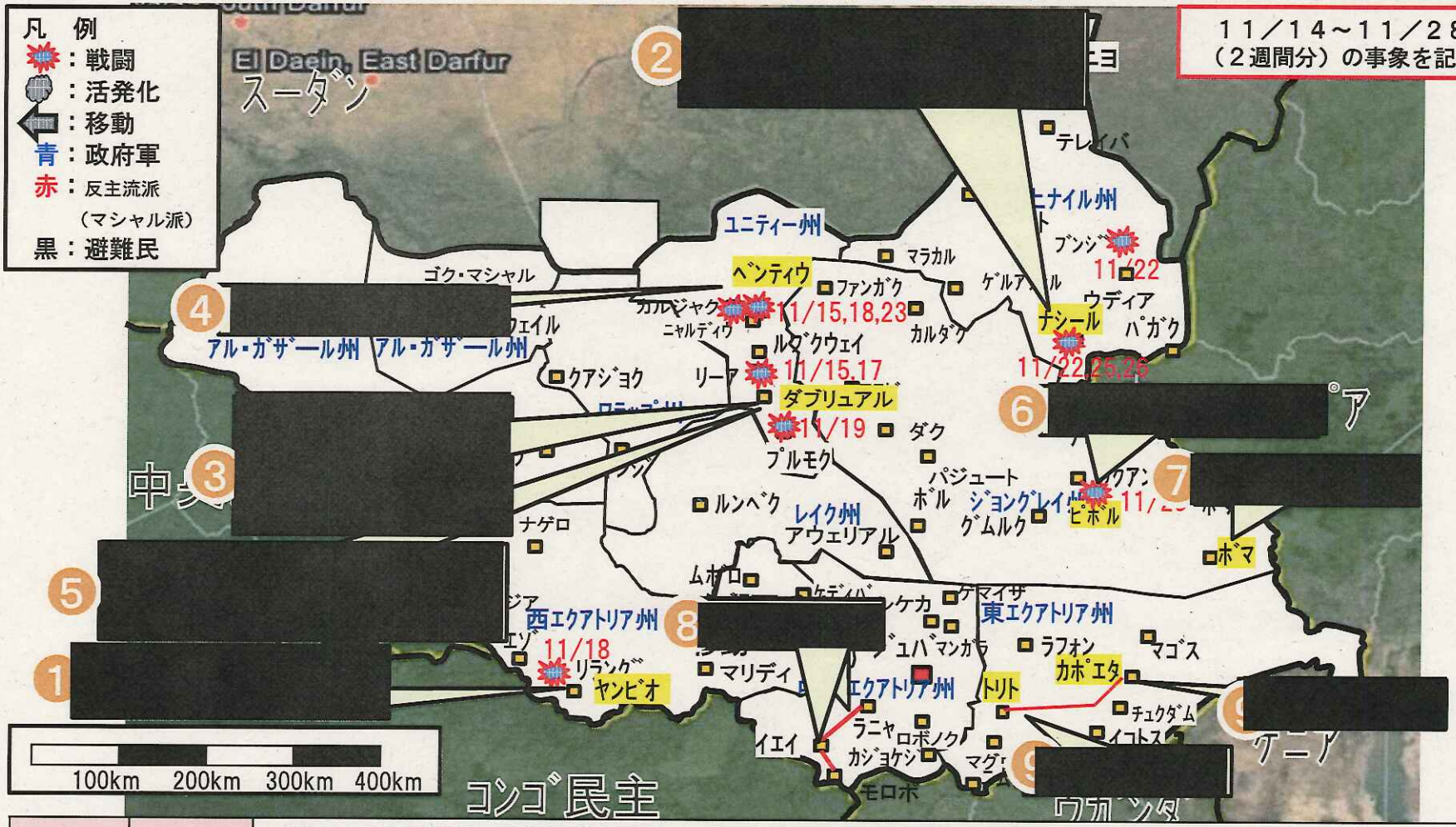
（２８日　The New Arab　“Riek Machar expected to return to South Sudan　‘soon’ ”）

→　マシャル氏の帰還は、反主流派（マシャル派）の士気を鼓舞するものと思料
南スーダン帰還後のマシャル氏の行動については明確ではないが、現在の暫定政府との間で、敵対行為停止のための交渉を実施する可能性は低く、今後のマシャル氏の発言等によっては、政府軍と反主流派（マシャル派）との衝突規模が拡大する可能性は否定できず、引き続き動向に注視が必要

[redacted]

情　勢（３／１１）／Situation

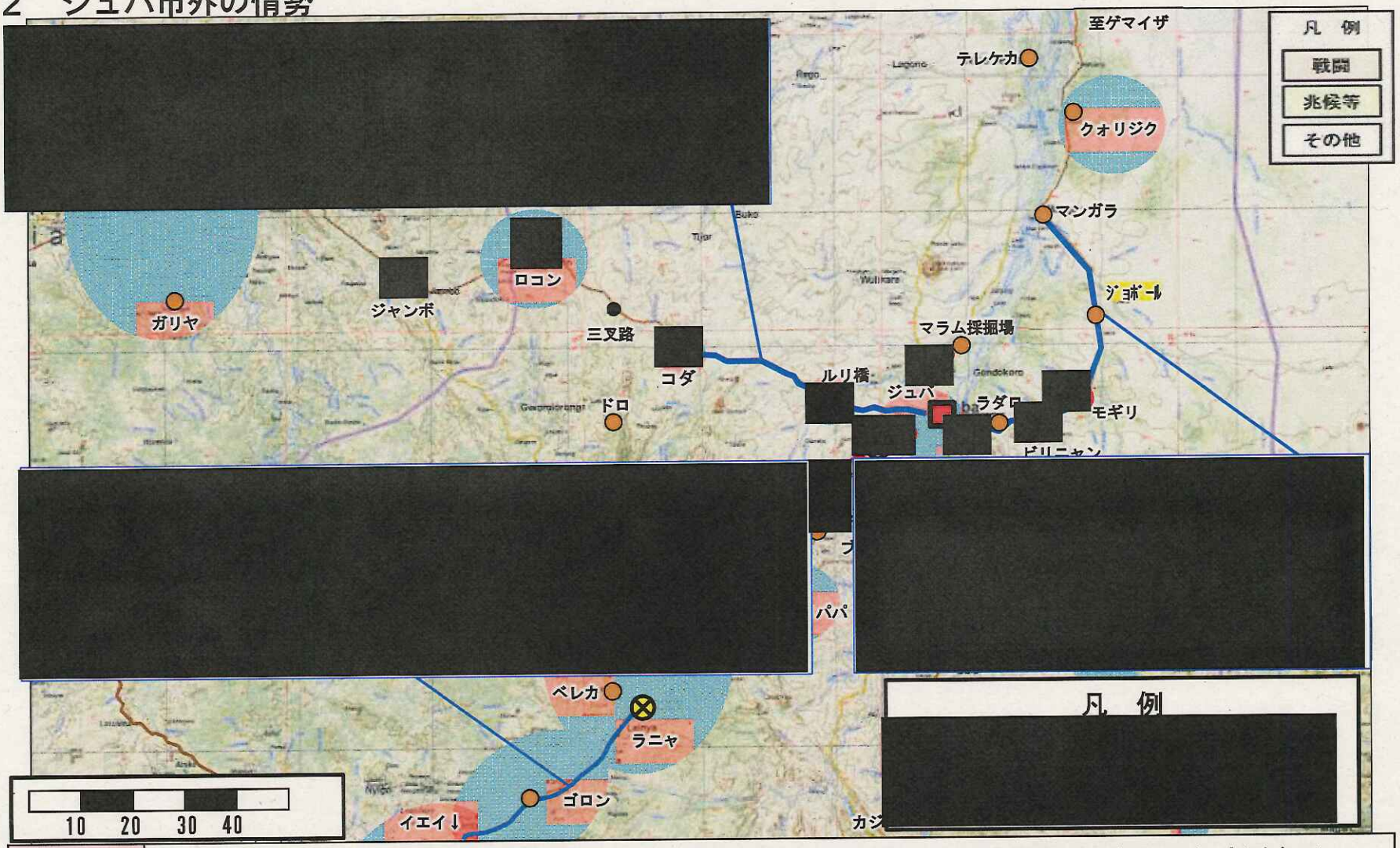
１１／１４～１１／２８
（２週間分）の事象を記載



評　価	衝突 解決 合意	南スーダン政府は、安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意しているものの、政府高官での相反する発言も確認されており、安保理協議の動向及びケニア撤退の影響には注視が必要 北部において、政府軍と反主流派（タバン派）の連合軍と反主流派（マシャル派）との衝突が継続しており、マシャル氏のキール政権打倒のための武力抵抗に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、東、西エクアトリア地域では武装集団による襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	乾季への移行に伴うものと思料される牛の移動等が確認されており、今後、各地での部族間対立発生の可能性は否定できず、注視が必要

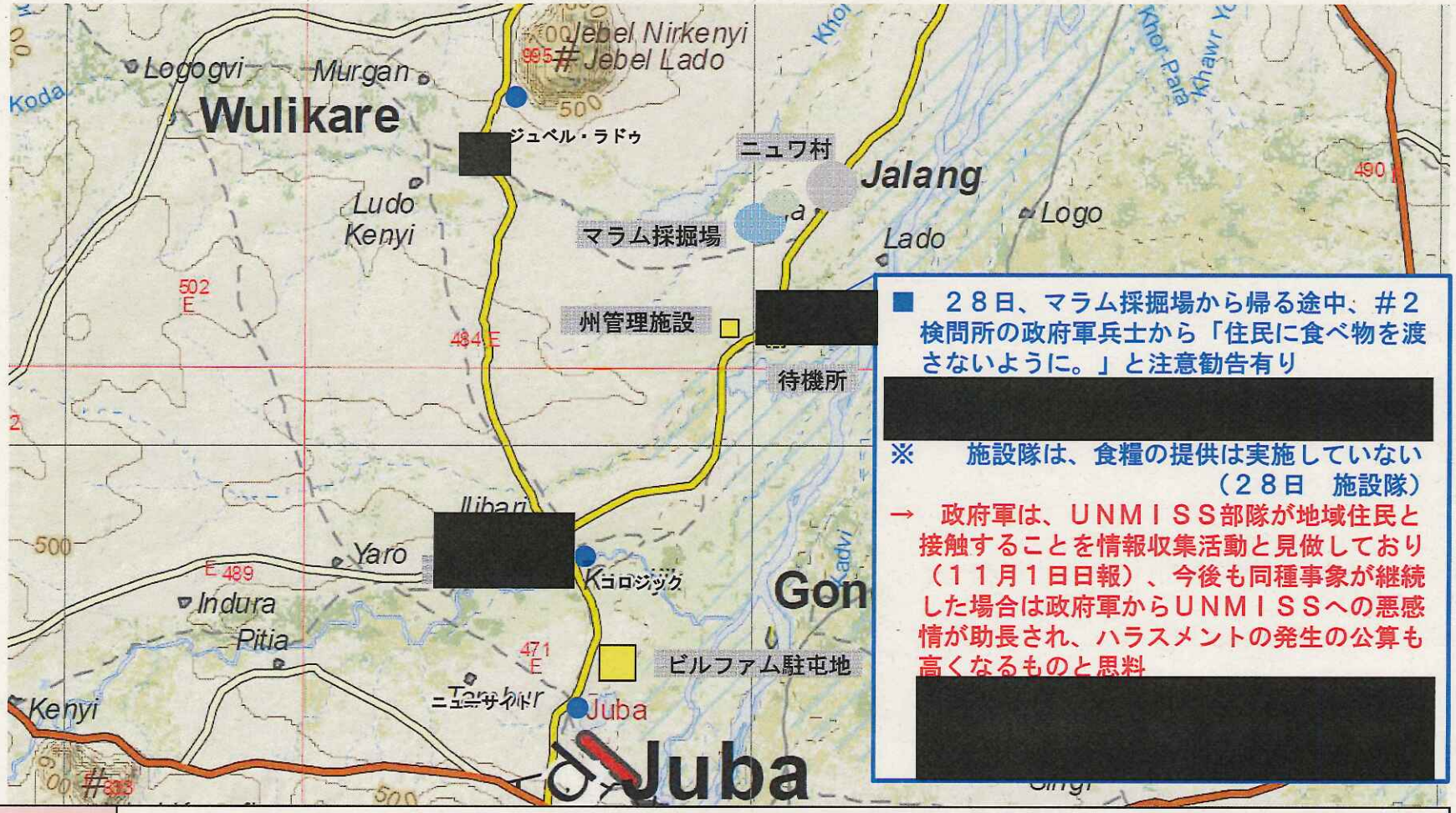
情　勢（４／１１）／Situation

2　ジュバ市外の情勢



評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、射撃事案、道路沿いで政府軍に対する反主流派（マシャル派）による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情　勢（５／１１）／Situation



■　２８日、マラム採掘場から帰る途中、＃２検問所の政府軍兵士から「住民に食べ物を渡さないように。」と注意勧告有り

[redacted]

※　施設隊は、食糧の提供は実施していない（２８日　施設隊）

→　政府軍は、ＵＮＭＩＳＳ部隊が地域住民と接触することを情報収集活動と見做しており（１１月１日日報）、今後も同種事象が継続した場合は政府軍からＵＮＭＩＳＳへの悪感情が助長され、ハラスメントの発生の公算も高くなるものと思料

[redacted]

評　価	地域住民、特にムンダリ族（銃を携行する牛飼い）と政府軍との間又は牛飼い同士の間で銃撃を含む衝突（政府軍によるムンダリ族への報復）が発生する可能性もあり、移動間の衝突への巻き込まれ及び流れ弾には警戒が必要 また、食糧確保のために、ビルファムロード沿いに北上する牛飼い等の所有する家畜への衝突にも併せて注意が必要

情　勢（６／１１）／Situation

３－１　ジュバ市内の状況

■　２８日０２０４頃、北西方向２Km以上において射撃音２発確認
（２８日 警衛隊）

■　２８日０４０５～０４１５頃、南西方向３Km以上において射撃音１０発以上確認
（２８日 警衛隊）

→　警告射撃を含む、夜間の射撃発生時、流れ弾には注意が必要

■　２７日１８００頃、空港滑走路においてMi２４ハインド×１（ＯＤ色、両翼装備×４）着陸確認
（２８日 警衛隊）

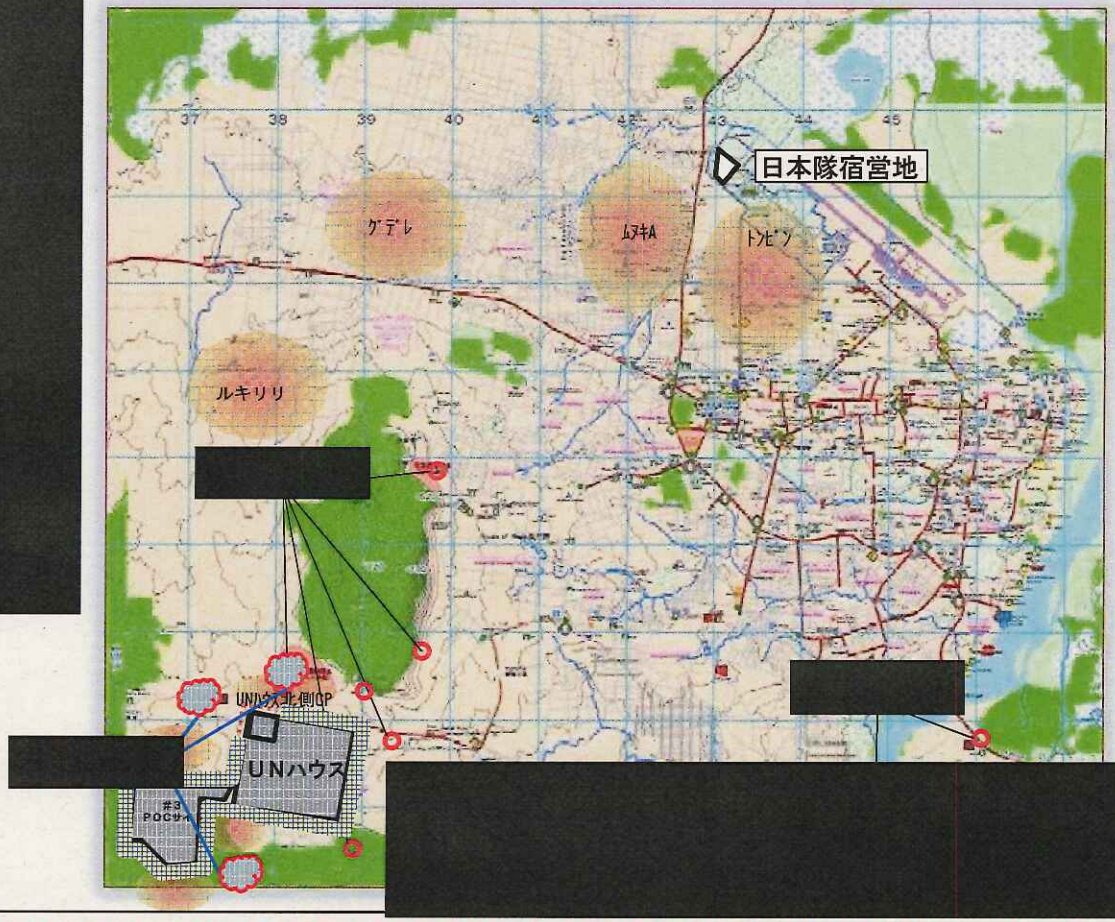
→　イェイ方向への部隊の展開が、先週から確認されており、今後、政府軍による何らかの作戦が実施される可能性

評　価	ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、夜間の射撃事案の増加、政府軍兵舎に対する銃撃、１１月下旬以降のグデレ及びイェイ道正面への政府軍の移動の増加が確認されており、引き続き注視が必要。また、ＵＮハウス周辺では、ＷＦＺ設定以降に射撃は減少しているものの、昼間における射撃音は引き続き確認されており、ＩＤＰとのＵＮ職員との小競合いも発生していることから、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情　勢（７／１１）／Situation

３－２　ジュバ市内の状況

[redacted]



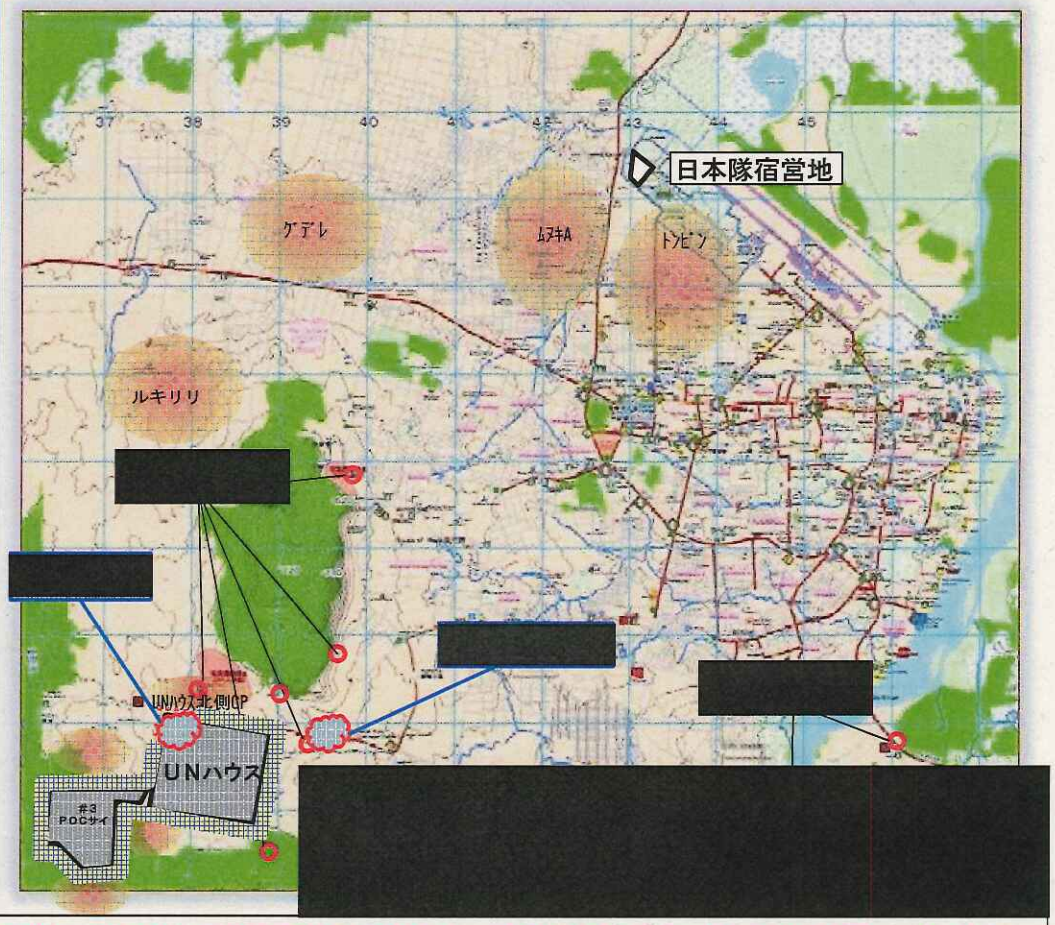
[redacted]

評　価	ジュバ市内は、昼間における強盗の発生、夜間の射撃事案の増加、政府軍兵舎に対する銃撃、１１月下旬以降のグデレ及びイェイ道正面への政府軍の移動の増加が確認されており、治安の不安定化の傾向 また、ＵＮハウス周辺では、ＷＦＺ設定以降に射撃は減少しているものの、昼間における射撃音は引き続き確認されており、ＩＤＰとのＵＮ職員との小競合いも発生していることから、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情　勢（８／１１）／Situation

３－３　ジュバ市内の状況

[redacted]



[redacted]

評　価	ジュバ市内は、昼間における強盗の発生、夜間の射撃事案の増加、政府軍兵舎に対する銃撃、１１月下旬以降のグデレ及びイェイ道正面への政府軍の移動の増加が確認されており、治安の不安定化の傾向 また、ＵＮハウス周辺では、ＷＦＺ設定以降に射撃は減少しているものの、昼間における射撃音は引き続き確認されており、ＩＤＰとのＵＮ職員との小競合いも発生していることから、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情　勢（９／１１）／Situation

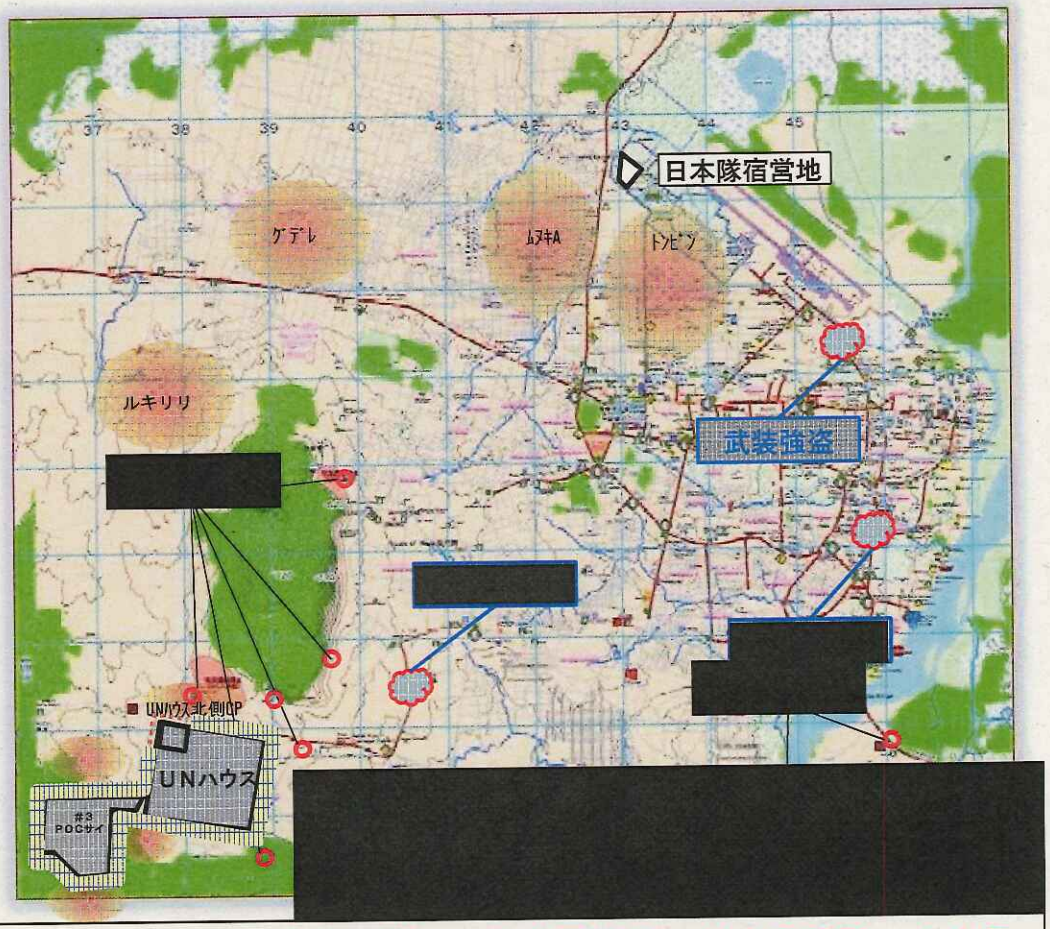
３－３　ジュバ市内の状況

[redacted]

■　２７日１２４０頃、クラウンホテル近傍で発生した射撃音は、車強盗を阻止しようとして治安機関要員が警告射撃をしたものであった模様

（２８日[redacted]）

→　昼間の武装強盗が、週末に３件発生しており、経済状況の悪化も継続していることから年末にかけて、同種犯罪は増加する可能性

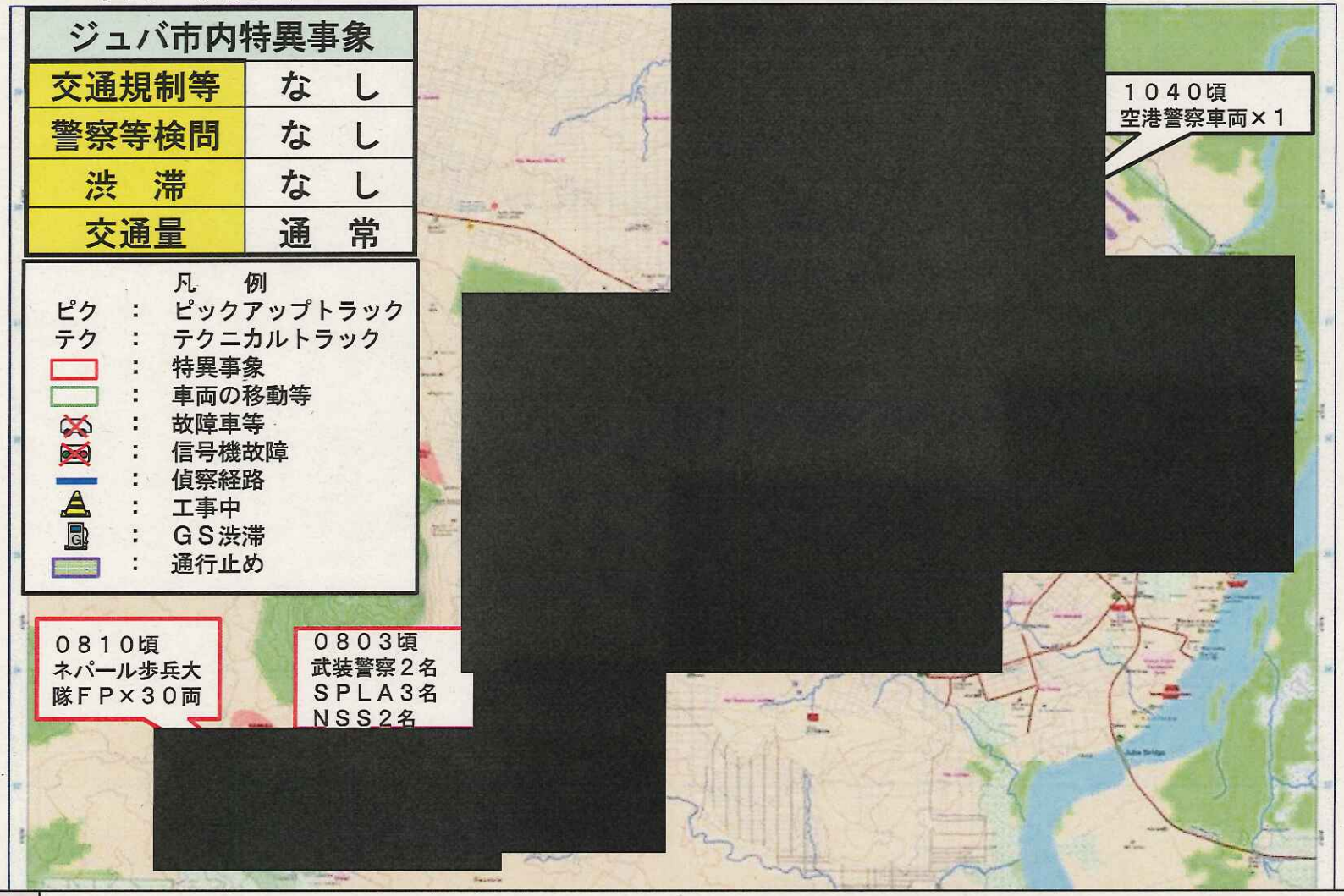


評　価	ジュバ市内は、昼間における強盗の発生、夜間の射撃事案の増加、政府軍兵舎に対する銃撃、１１月下旬以降のグデレ及びイェイ道正面への政府軍の移動の増加が確認されており、治安の不安定化の傾向 また、ＵＮハウス周辺では、ＷＦＺ設定以降に射撃は減少しているものの、昼間における射撃音は引き続き確認されており、ＩＤＰとのＵＮ職員との小競合いも発生していることから、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情　勢（１０／１１）／Situation

４　ジュバ市内の状況（０７２０～１１００）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	通　常



評　価	市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（１１／１１）／Situation

５　気　象（０６００i）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	雨後晴れ	２４℃	３６℃	３２％	６４％	２㎜	
カンパラ	雨	１６℃	３１℃	１０％	５４％	２㎜	

主要装備品等現況／Equipment Status

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	９９％ [redacted]	高機動車×１ 右Ｒショックアブソーバ折損	部品請求実施 →[redacted]
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機×１ （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 →[redacted]

別紙第４－２

１１月２８日１８００ｃ

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

区分		品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

別紙第４－３

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

[redacted] 喫食者数：４２２名（第１０次要員２９５名、第１１次要員１２９名、出張２名）１１月２８日１８００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	そ の 他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油(発電機)					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

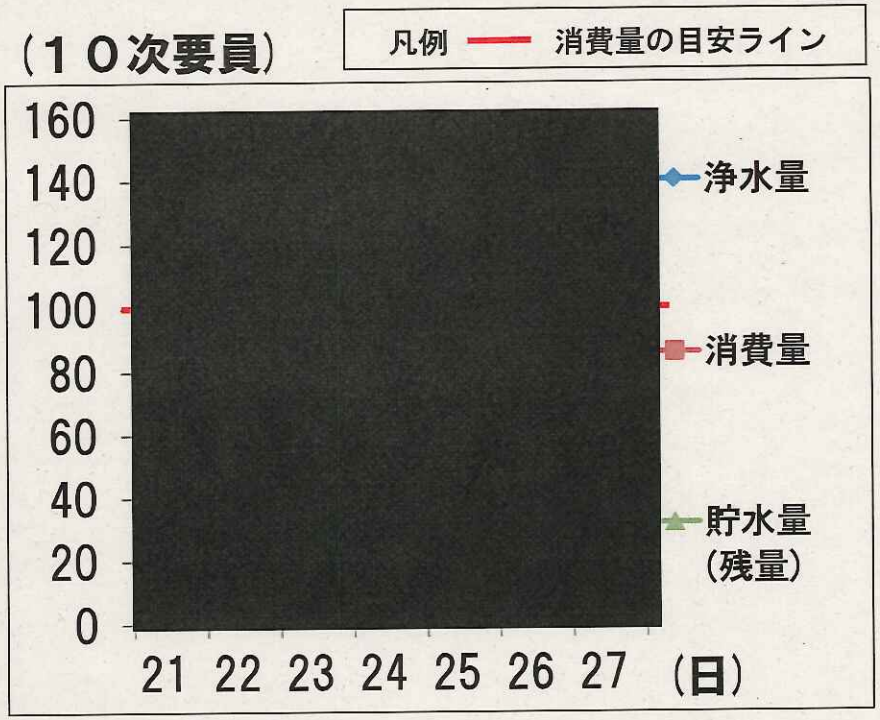
別紙第４－４

１１月２８日１３００ｃ

第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

【H28. 11】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
月	２１	[redacted]		
火	２２			
水	２３			
木	２４			
金	２５			
土	２６			
日	２７			



他国供給先（前日実績）	供給量
ＵＮハウス	
トランジット	2
ネパールＦＰＵ	
ネパール歩兵中隊	3
エチオピア大隊	5
バングラ河川隊	
インド隊	
合　計	１０

【評　価】
○第4井戸
→取水量は安定傾向を保っているが、砂の埋没等による再故障を未然防止するため、定期的な水深等の調査を実施
○第5井戸（工事期間：10月20日から11月下旬）
→水質等検査の結果、水質・水量及び土質が長期使用には適さないと判断したため、近傍地域の別の場所に再掘削を実施（11月17～21日掘削完了、28日～配管作業等実施予定）
○11次要員先発到着に伴う人員増加
→浄水量・消費量の増加量を踏まえた適切な生活用水使用統制及び各隊員の更なる節水意識の高揚

患者受診状況

受診患者計　　４名

１１月２７日１８００c
～１１月２８日１８００c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
第２施設小隊	１名	[redacted]	第１１次要員
警備小隊	２名		
情報班	１名		

凡例：　（再）　→　再　診

別紙第６

人員現況／Personnel Status

１１月２８日１８００ｃ

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（ＵＮトンピン）	２９５	２	２９３	ウガンダ出張２名（会計幹部、通訳班長）	
第11次要員		１２９		１２９		
来隊者		３		３		○　ＣＲＦ後方補給部長以下、３名
宰領官		２		２		○　ＣＲＦ　２名
計		４２９	２	４２７		

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

凡例　赤字：強調　青字：不在者

別紙第７－１

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	流れ弾	11/15, 16, 17, 20, 22, 24, 25, 27, 28 近傍での射撃（特に夜間）	[redacted]
	ＵＮトンピン	反ＵＮデモ	9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	[redacted]
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	[redacted]
	ＵＮハウス	反ＵＮデモ	9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	[redacted]
		ＩＤＰ等の流入又は侵入	[redacted]	[redacted]
		流れ弾	[redacted] 10/4~ WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）パトロール	[redacted]
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	[redacted]	[redacted]
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	[redacted] 9/17　政府軍のPOCサイトへの侵入 [redacted]	[redacted]
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	[redacted]

別紙第７－３

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted] 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り [redacted] 10/4 市民団体がRPF展開へ反対 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） [redacted] 10/28 ｴﾁｵﾋﾟｱ首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催 [redacted] 11/15 安保理協議 11/17 安保理制裁協議 11/17,18 ｸﾗｳﾝﾎﾃﾙでJMEC会議 11/19 SPLMハウスでレッドアーミー集会（大統領参加予定） 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対 11/22 JMEC全体会合 11/25 定例閣僚会議でRPFの受入承認	[redacted]
		反ＵＮデモ	8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 11/4 ケニアの撤退への反対を政府が表明 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		流れ弾	[redacted] 11/2,3,4,5,6,12,14,15,27,27 ｼﾞｭﾊﾞ市内における射撃 11/25 政府軍に対する銃撃 [redacted]	
		盗　難	[redacted]	

別紙第７－２

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	衝突への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は　　存在 [redacted]	[redacted]
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 10/26 ｼﾞｭﾊﾞ－ﾏﾝｶﾞﾗ間の治安部隊の配置 11/2, 8, 14 ｼﾞｭﾊﾞ－ﾄﾘﾄ道沿いの民間車両襲撃 11月初旬 ｲｪｲからのIDPのﾋﾞﾘﾆｬﾝへの移送 11/14 ｼﾞｭﾊﾞ－ﾏﾝｶﾞﾗ道沿いで政府軍及び民間車両に対する襲撃 [redacted]	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	衝突への巻き込まれ	10/14 ｺﾀﾞでの政府軍と反主流派の衝突 [redacted] 10/30, 12, 24 反主流派のﾑﾝﾄﾞﾘ近郊での活動 [redacted]	
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	[redacted] 11/5 ｼﾞｭﾊﾞ郊外東部ｸﾞﾚｲで民間人による銃の乱射	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	衝突への巻き込まれ	10/26, 27, 11/1, 2 ﾏﾗﾑ採掘場の情勢は平穏 10/29, 30 近傍住民との小競合い 11/2 ﾋﾞﾙﾌｧﾑ駐屯地南で約30発の射撃音	
		ハラスメント	[redacted] 11月 検問を異状なく通過 [redacted] 11/1-2　外国高官の来訪 11/2 ﾋﾞﾙﾌｧﾑ駐屯地南で約30発の射撃音 11/3, 4　検問に所在するSPLA兵士の感情良好 11/28 住民への食糧提供に関する注意	
		犯罪への巻き込まれ	11/8 牛飼いは乾季に伴い北へ移動し、やや減少 10/27 部族間の感情は良好 11/2 ﾋﾞﾙﾌｧﾑ駐屯地南で約30発の射撃音	

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾	[redacted]	[redacted]
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
	盗　難		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	衝突への巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	衝突への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	衝突への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃、政府軍兵士による反主流派と見做された民間人に対する暴行と報復が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、ムンドリ近郊における治安が不安定化している傾向にあり、ＵＮＭＩＳＳ車両が問題なく通行しているものの、道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれ及び衝突の東側への波及には注意が必要 ジュバ～マンガラ間は、ＵＮＭＩＳＳ車両に対する直接的な脅威は確認されていないものの、政府軍によるムルレ族武装集団に対する掃討作戦が実施されていることから、流れ弾及び検問所近傍における衝突への巻き込まれには注意が必要 マラム採掘場に至る経路沿いでは、ＵＮＭＩＳＳ車両の通行に対する直接的な脅威は確認されていないものの、政府軍から住民との交流に関する注意勧告がなされており、今後の政府軍の対応の変化には注視が必要 ＵＮハウス周辺では、ＷＦＺの設定以降射撃は減少傾向にあるものの、昼間の発砲音が確認されていることから、流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、ＰＯＣサイトへ禁止物品を持ち込もうとするＩＤＰとＵＮＰＯＬ等との間で小競合いが発生するとともに、安保理制裁に関するＩＤＰによるデモも確認されていることから、巻き込まれには注意が必要 ジュバ市内においては、昼間の市内においてもＵＮＭＩＳＳ部隊からの銃の窃盗未遂や武装強盗の発生、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪、政府軍兵舎に対する銃撃に関する情報も入手されていることから、検問、兵士の増加、警戒の程度等の市内の状況の変化には注意が必要 加えて、ケニア軍の撤退に関して国際社会、暫定政府及び反主流派（マシャル派）は、ケニア軍の引き続きの駐屯を望んでいる事や、安保理で制裁に関する採択なされる前に、無条件での地域保護部隊の受入を承認したことから、市民によるデモの可能性も含めて引き続き注視が必要

総　括

評　価 （総括）	・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は、大きく影響なし ・　ジュバ市内の活動は、移動・活動は地域保護部隊の受け入れを承認したものの、検問によるハラスメント、窃盗の可能性は否定できず、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、市内状況、移動時間、予備経路の指定及び防弾車の使用など処置が必要である。 ・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、車両による防護準備が必要 　また、ジュバ西部及び南部の衝突の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要	
処置・対策	ＩＤＰとの小競合い	[redacted]
	流れ弾対処	
	移動間における盗難	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	衝突への巻き込まれ	

明日の活動命令
(Operations)

1　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy & Guidance)

2　視察・来隊予定　(Schedules of visitors)

3　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

１１月２９日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮトンピン地区内退避壕構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

また、主力第１波の東千歳駐屯地への前進を開始する。

(2)ア　活動警備レベル（基準）

(ｱ)　ＵＮハウス地区

ａ　ハウス西側地区外柵沿い　　レベル[redacted]

ｂ　ハウス北側地区　　レベル[redacted]

(ｲ)　ＵＮトンピン地区　　レベル[redacted]

(ｳ)　ジュバ市内

ａ　ジュバ空港　レベル[redacted]

ｂ　Ｚｏｎｅ２（ハイゴンヤ）　　レベル[redacted]

イ　宿営地警備　[redacted]

３(1)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）
　　ＵＮトンピン地区内退避壕構築
(2)　１ＥＰｔ（第１施設小隊）
　　ＵＮトンピン地区内退避壕構築、状況により臨時工兵課タスクの実施
(3)　２ＥＰｔ（第２施設小隊）
　　車両操縦練成
(4)　３ＥＰｔ（第３施設小隊）
　　車両操縦練成
(5)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）
　　宿営地警備、同行警備及び[redacted]
(6)　ＨＱＵ（本部付隊）
　　宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区内給水活動及び[redacted]
(7)　ＭＩＳｅｃ（情報班）
　　ＵＮトンピン地区内における情報収集
(8)　ＧｕａｒｄＳｅｃ（警護班）
　　隊長、ＣＲＦ後方補給部長警護及び経路偵察
(9)　ＭＰＳｅｃ（警務班）
　　[redacted]
(10)　主力第１波
　ア　長　副隊長
　イ　東千歳駐屯地へ向け前進

別紙第８－３

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／９）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	施設	ＵＮトンピン内退避壕構築	器材小隊	０８００～１６３０	ＵＮトンピン内	１０	１	大型×３、小型×２	[redacted]	
			１小隊	０８００～１６３０		４	５			
②	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット ネパール歩兵中隊	３	２	給水車×１、小型×１		
③	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	バングラ河川隊	３	２	給水車×１、小型×１		
④		業務調整（人事）	隊本部（Ｓ－１）	０８３０～１６００	ＩＤセクション	２		小型×１		
⑤		週工兵会議 業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	工兵課	２	３	小型×１		
⑥		業者対応（施設器材）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	ウエストゲート	２		小型×１		
⑦		広報活動	隊本部（広報）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１	１	高機×１		
⑧		端末地輸送（第１０次１波要員送迎）	隊本部 各部隊	０７１０～１２００	ＭＯＶＣＯＮ	１４５	２	大型×9、小型×1 ランクル×1フォークリフト×1		
⑨		車両操縦練成	隊本部（Ｓ－１）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１	１	小型×１		
⑩		車両操縦練成	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	２	１	高機×１		
⑪		車両操縦練成	２小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	４	７	高機×３、大型×２		
⑫		車両操縦練成	３小隊	０７３０～１６３０	ＵＮトンピン内	８	６	高機×１、特大型×１		
⑬	情報	情報収集	情報班	[redacted]	ＵＮトンピン内	[redacted]				

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－４

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／９）

⑦	広報活動
⑨ ⑩ ⑪ ⑫	車両操縦練成
⑬	情報収集

別紙第８－５

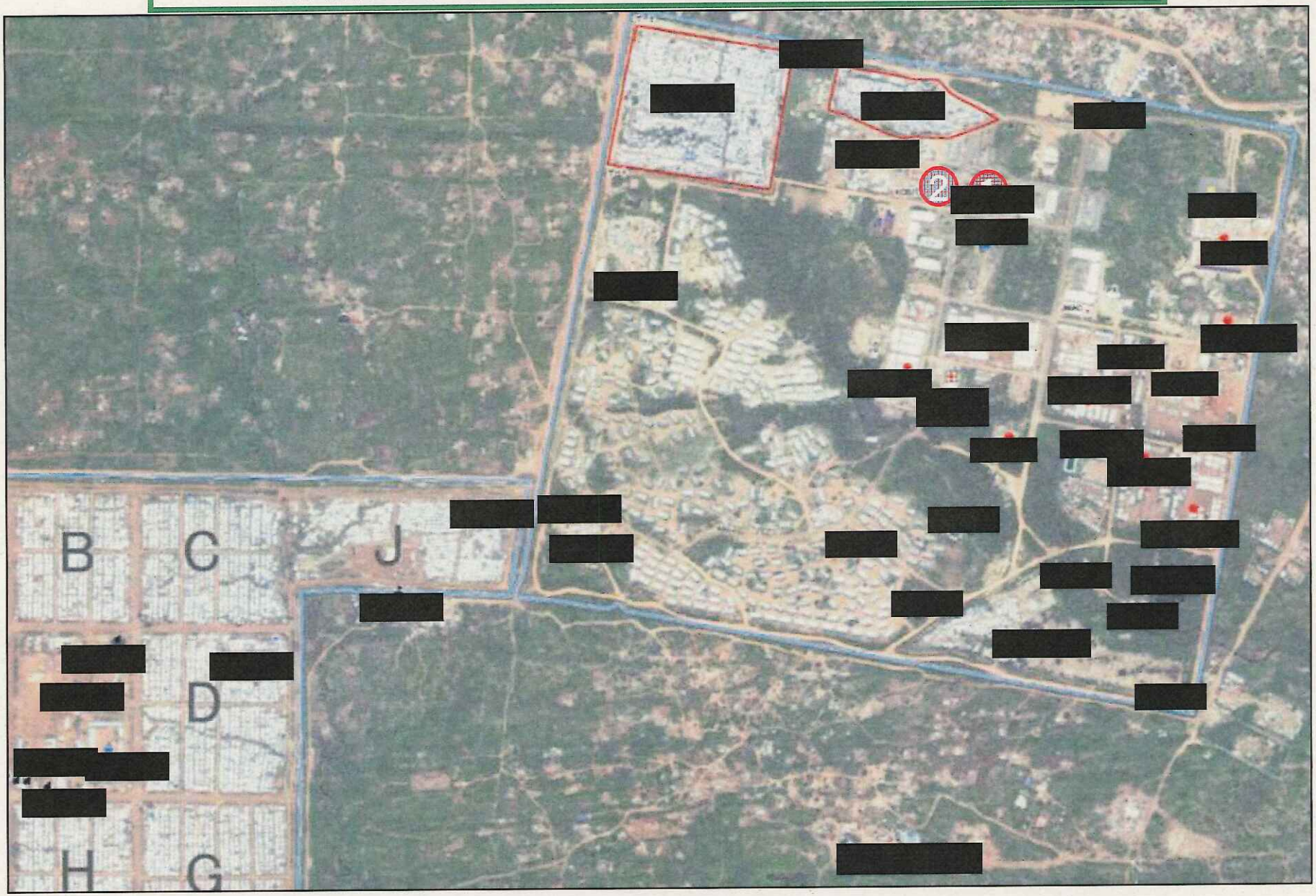
活動概要（ＵＮハウス地区）（３／９）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#１０	#１１		#１０	#１１
①	その他	ＤＳＲＳＧ（成果報告） ＤＭＳ表敬	隊本部 （Ｓ－３） （広報）	１３００～ １６００	UNMISS司令部	３	２	ランクル×１	[redacted]	
②		業務調整 （施設・渉外・警備・広報）	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３） （広　報）	１３００～ １６００	UNMISS司令部 情報放送省	５	３	高機×２		

凡例　UNタスク

別紙第８－６

活動概要（ＵＮハウス地区）（４／９）



別紙第８－７

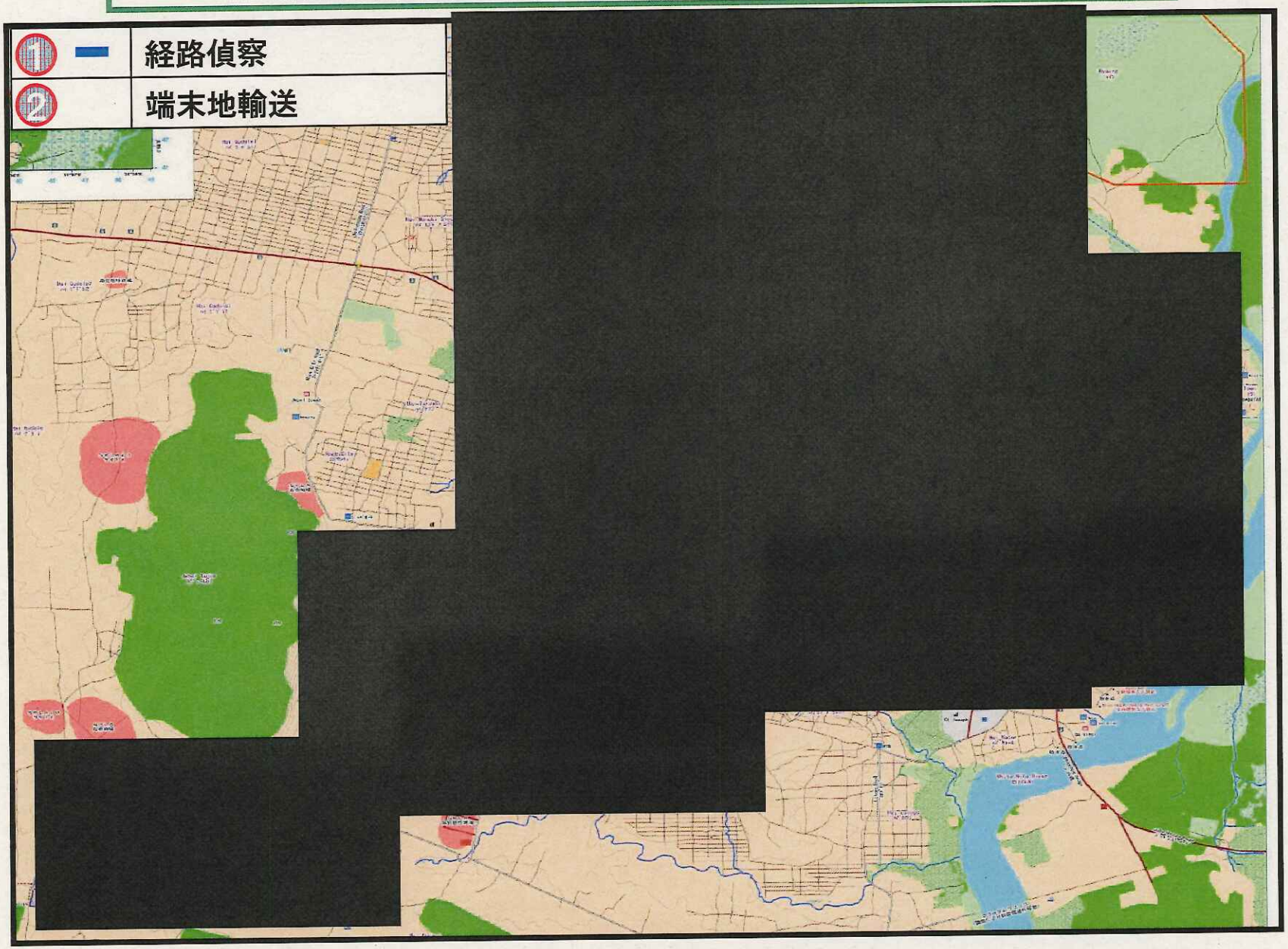
活動概要（ジュバ市内）（５／９）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	情報	経路偵察	隊本部（Ｓ－２）	[redacted]						
②	その他	端末地輸送（ＣＲＦ後方補給部長送迎）	隊本部（Ｓ－４）	０７５０～０８３０	ジュバ空港	１	１	ランクル×1、高機×１		

凡例　UNタスク

別紙第８－８

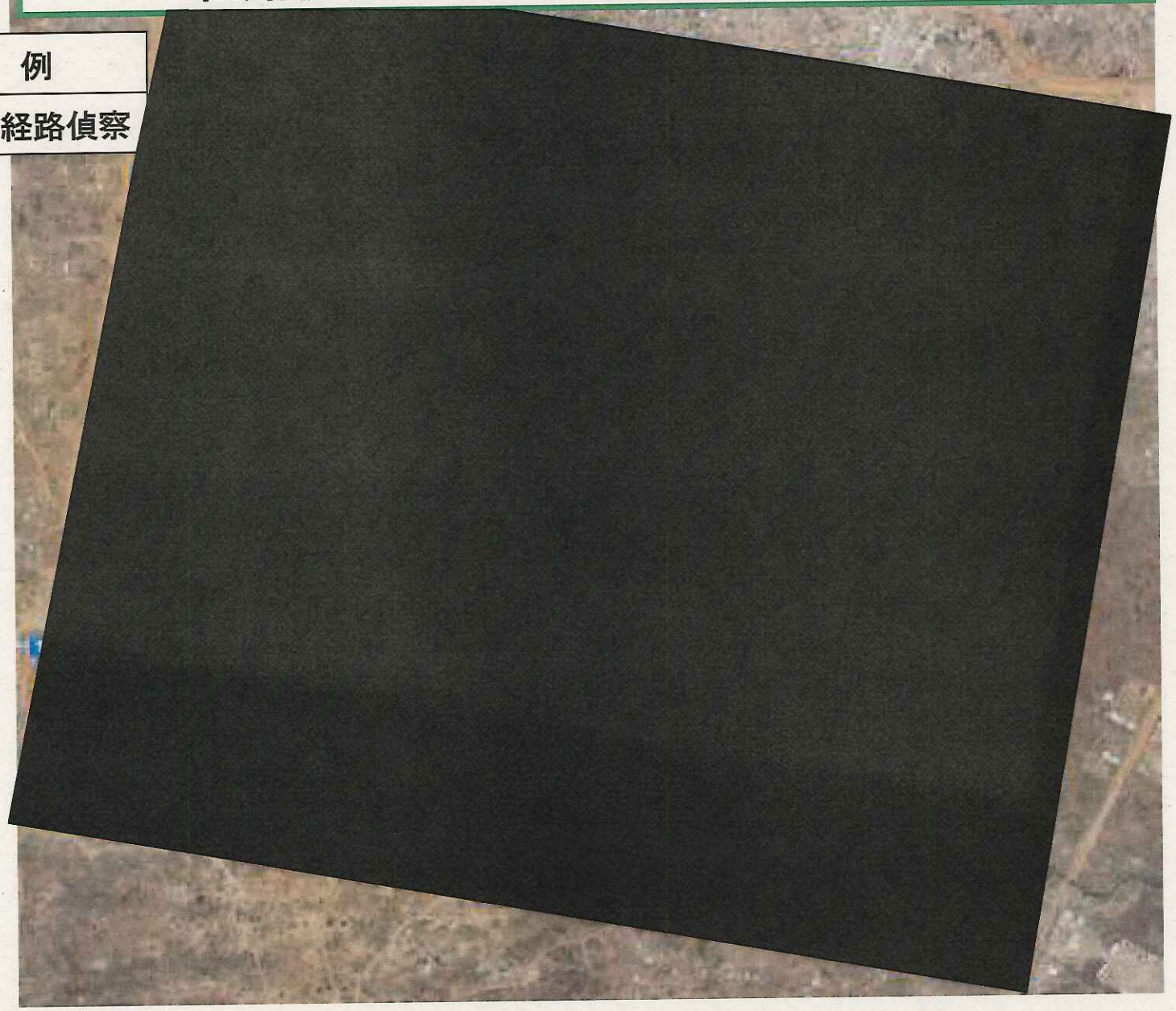
活動概要（ジュバ市内）（６／９）



別紙第８－９

経路偵察（ＵＮハウス）（７／９）

凡　例	
――	経路偵察



別紙第８－１０

活動概要（ジュバ市内）（８／９）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#１０	#１１		#１０	#１１
①	その他	東千歳駐屯地への前進	主　力 第１波	０７１０～ １２月２日 １１４０ｉ	ジュバ空港～ エンテベ市内～ エンテベ空港～ コロンボ空港～ 新千歳空港～ 東千歳駐屯地	１１０			[redacted]	

別紙第８－１１

活動概要（ジュバ市内）（９／９）

○　移動経路
　ジュバ～エンテベ（ウガンダ）～コロンボ（スリランカ）～新千歳

○　特　性
・チャーター便を利用（１回乗継）
・エンテベ市内宿泊（１１月２９日、３０日）

凡　例
WB：ルワンダ航空
ＪＬ：日本航空

	１１月２９日（火）	１１月３０日（水）	１２月１日（木）	１２月２日（金）
移動計画	宿営地発 → ジュバ空港着 → ジュバ空港発 1010 → WB0430便（チャーター便） → エンテベ空港着 1120 (1610i)　(1720i)	エンテベ市内	エンテベ空港発 1010 → JL8830便（チャーター便） → コロンボ空港着 1935 → コロンボ空港発 2230 → JL8830便（チャーター便） (1610i)　(2305i)(0200i)	新千歳空港着 1030 → 新千歳空港出迎え → 新千歳空港発 → 東千歳駐屯地着

別紙第９

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
	視察・来隊等予定なし	

別紙第１０－１

１０次隊長及び１１次隊長の行動予定

	AM	PM	課業外
１０次隊長	[redacted]		
１１次隊長			

副隊長及び最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

	AM	PM	課業外
副隊長	[redacted]		
最先任上級曹長			

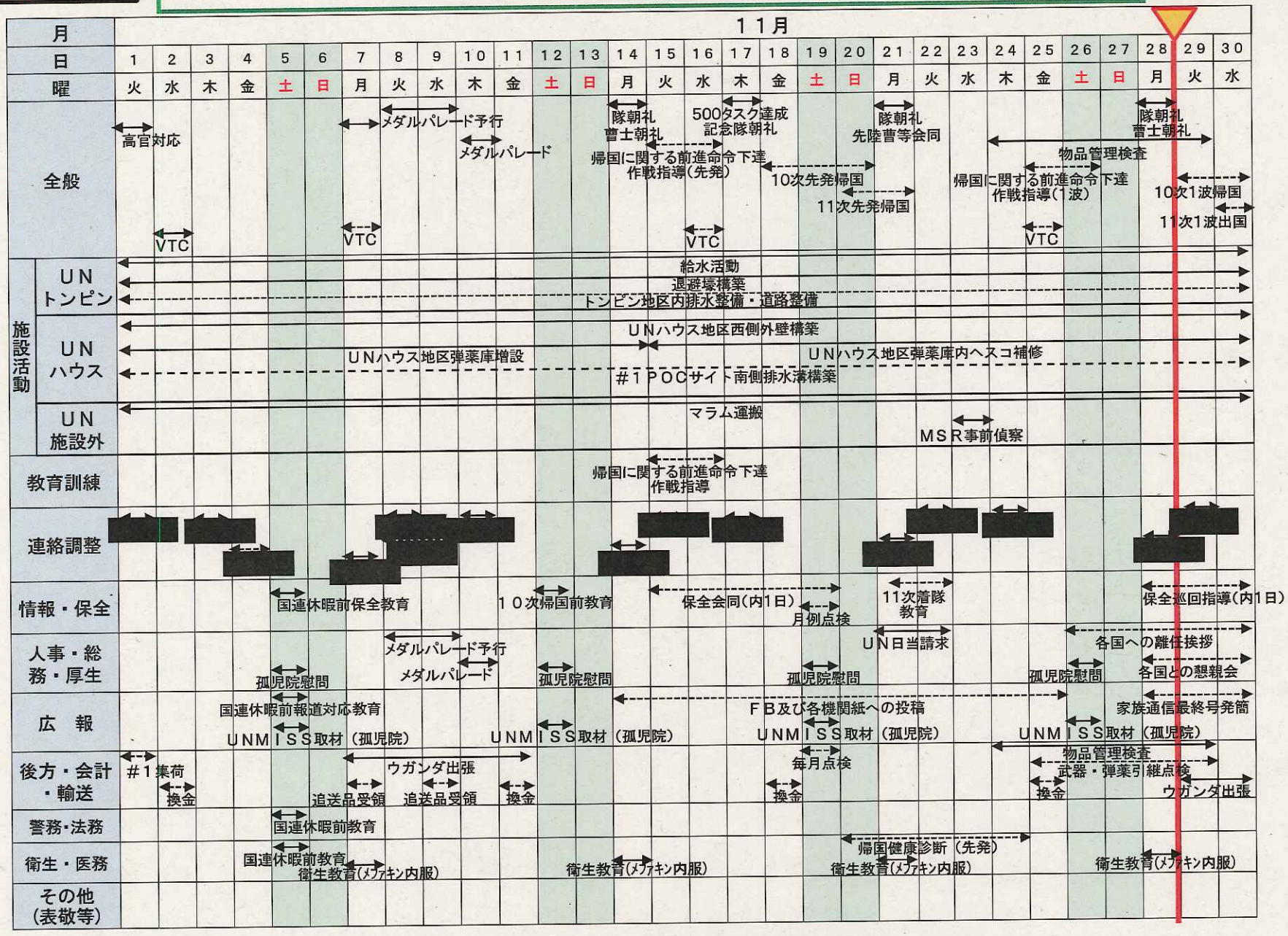
３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

赤字：変化事項

１１月　月間業務予定

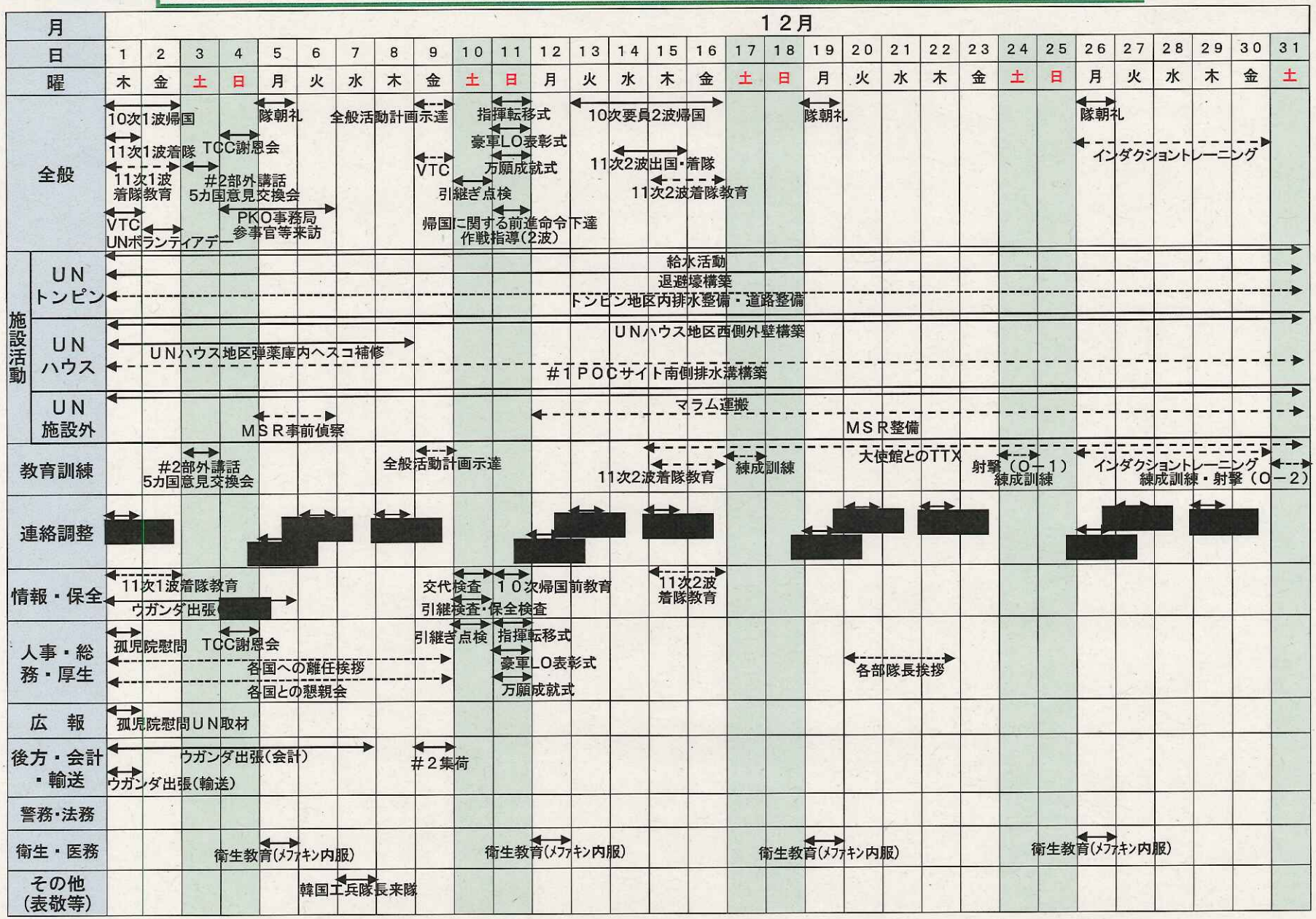
別紙第１１－１



赤字：変化事項

１２月　月間業務予定

別紙第１１－２



青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１１／２７～１２／３）第５１週

別紙第１１－３

日	１１／２７	１１／２８	１１／２９	１１／３０	１２／１	１２／２	１２／３
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１２／４～１２／１０）第５２週

別紙第１１－３

日	１２／４	１２／５	１２／６	１２／７	１２／８	１２／９	１２／１０
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

連携案件等情報

別紙第１２

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練 「＃４さくらＰＪ」	ＭＴＣ	実施困難	ＭＴＣ ＪＩＣＡ	・10/20 ＪＩＣＡ南スーダン事務所のウガンダ移転完了。南スーダンへの復帰時期の見通し立たず ・現在のＵＮＭＩＳＳの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難 ・11/7 ＭＴＣ担当と現在のＭＴＣの状況と１１次隊へ引き継ぐためのニーズ確認等を実施 ・11/23 担当者引継ぎ完了 ・12/14 隊長による次長表敬予定	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	ＪＩＣＡ 大日本土木	ＣＲＦにおいて実施の可否を検討中	ＣＲＦ ＪＩＣＡ	１２月初めころまでにＪＩＣＡから外務省に対して防衛省への依頼を打診予定	
2	国際機関等連携案件	ＵＮＯＰＳ水質調査支援（日本補正予算によるボル河川港建設ＰＪに伴う水質調査の依頼）	ＵＮＯＰＳ （大使館）	工兵課からタスク発出済み	ＵＮＯＰＳ （※） （大使館）	・ボル河川港建設事業は現在着工済だが、引き続き、水質調査支援等の連携のため、ＵＮＰＰＳ側より工事の進捗状況について情報提供をする予定	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　―：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（２８日～２９日）ジュバ／Weather JUBA

最高気温（1400まで反映）

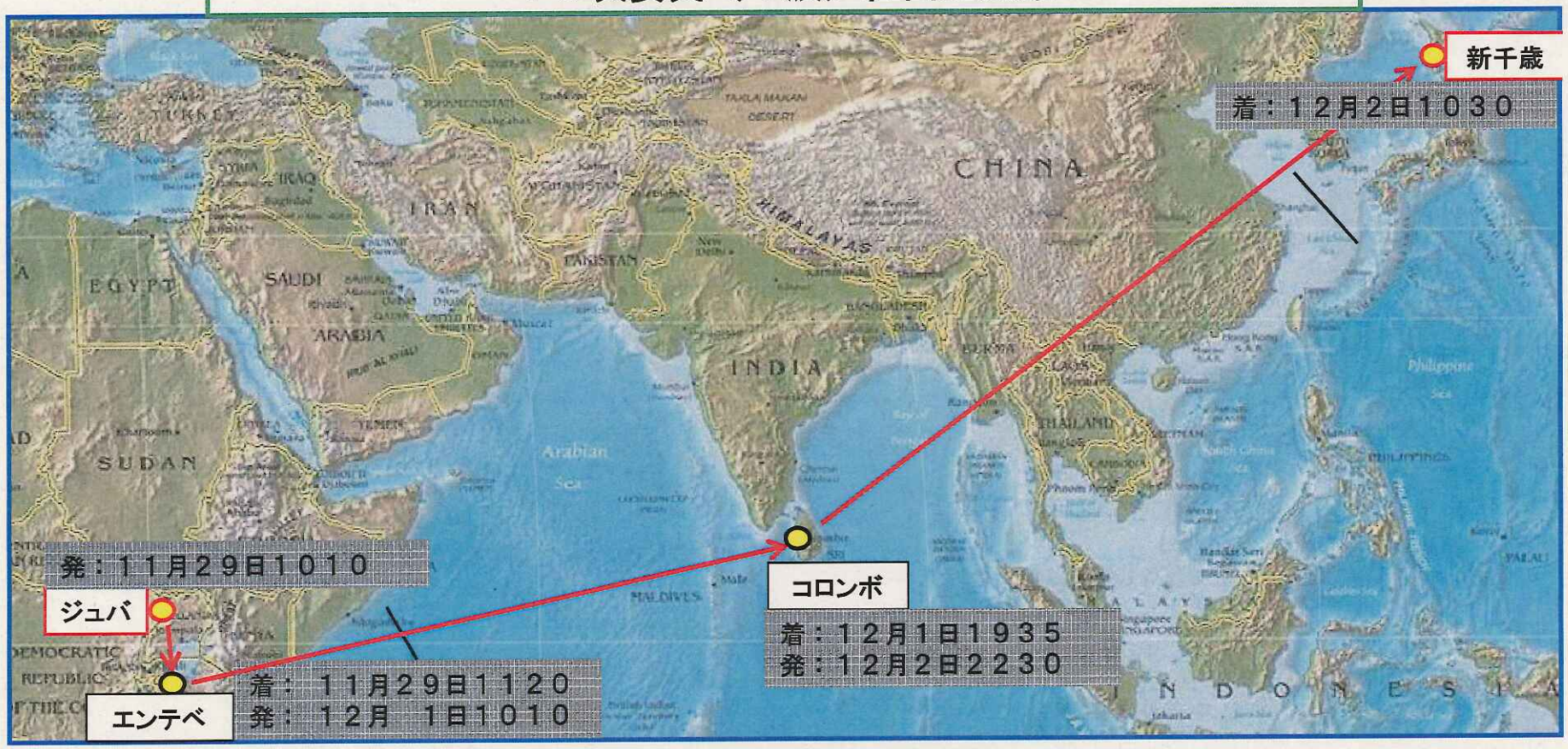
気温(直射)	気温(日陰)	湿　度	総雨量
５２℃	３６℃	６４％	2mm

日(曜) Date		２８日（月）		２９日（火）					
時　Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動						UNの基盤整備			
Juba	天　気								
	気温(℃)	２９	２７	２５	２４	３１	３８	３６	３４
	体感気温(℃)	２９	２８	２６	２６	３２	３９	３７	３６
	降水確率	５０％	０％	０％	０％	０％	０％	０％	６０％
	雨　量	０．２mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	０．５mm
	風　向	東北東	東北東	東南東	南東	南東	東	北東	北東
	風　速	6	5	4	3	2	4	2	3
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

１０次要員（１波）経由地気象



経由地	ジュバ	エンテベ	コロンボ	新千歳
11月29日	38／24	28／8		
12月　1日		28／8	30／24	
12月　2日			30／24	2／−3

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		２９日（火）	３０日（水）	１日（木）	２日（金）	３日（土）
主要な活動		孤児院慰問 ＵＮの基盤整備		ＵＮの基盤整備	ＵＮの基盤整備 ＃１０(１波)帰国	[redacted]・会計幹部 ウガンダ出張 ＵＮの基盤整備
Juba	天　気					
	気温(℃)	３８／２４	３６／２３	３７／２４	３７／２４	３７／２３
	降水確率	１０％	５０％	３０％	１０％	５０％
	雨　量	０mm	１mm	０mm	０mm	１mm
	評　価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	３１／１５	３０／１５	３２／１４	３２／１５	３０／１４
	降水確率	５０％	７０％	２０％	０％	１０％
	雨　量	０mm	０．２mm	０mm	０mm	０mm

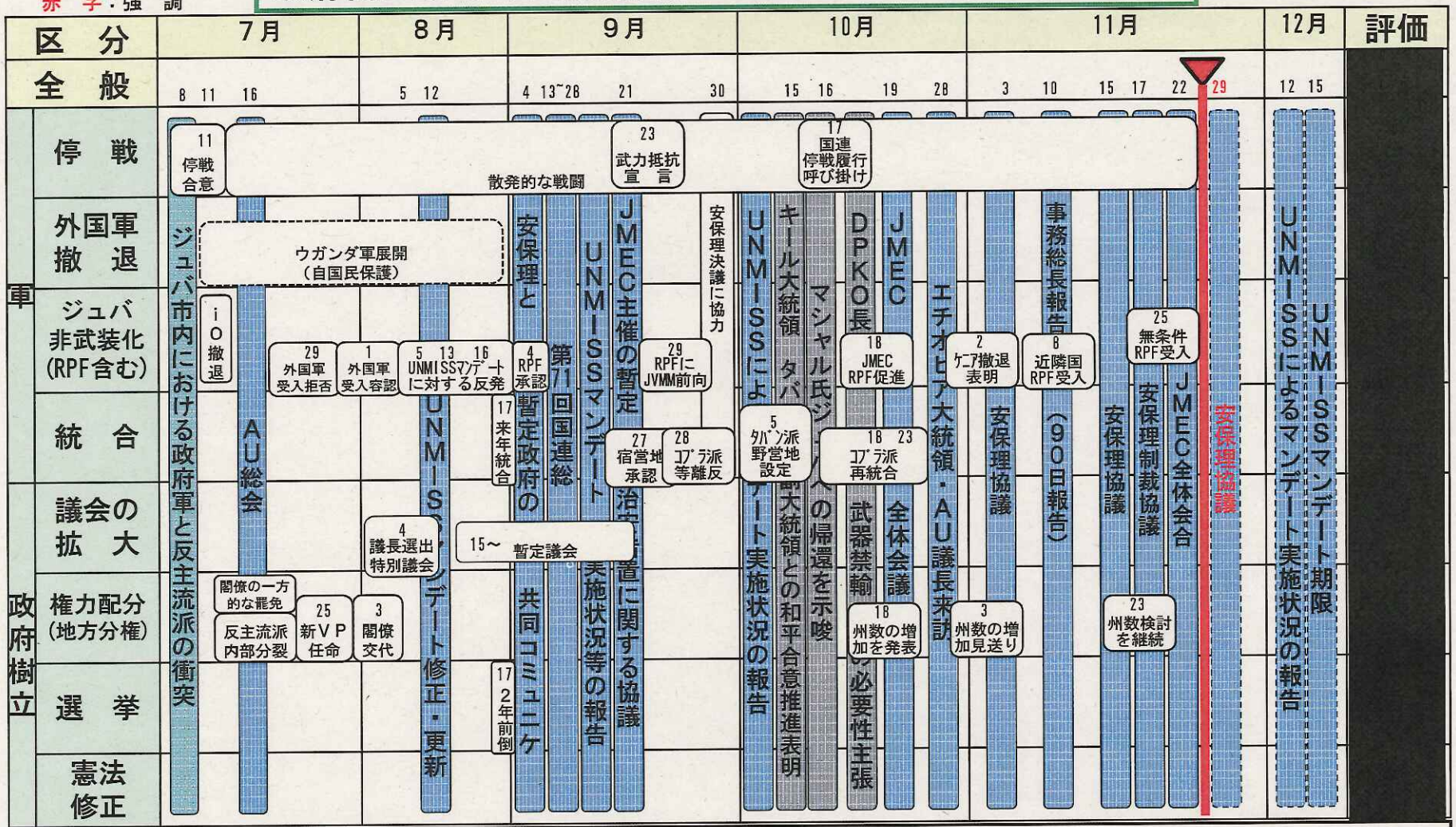
凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバは、安定しない天候が継続する見込みで、突然の雷雨には注意が必要 2　カンパラは、２９日に降雨が予想されるものの、それ以降は週末に向けて安定した天候

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価	衝突解決合意については、キール政権及びタバン第１副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第１副大統領との衝突解決合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、会議は実施されるものの野営地に関する協議を除き、具体的な進捗は見られなかったが**無条件での地域保護部隊の受入を決定したことから、ジュバの非武装化に向けた具体的な協議が今後進捗**するものと思料

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8 → 2016.7 → 2018

安定 ↑ 不安定

衝突解決合意

合意履行状況

暫定政府

ジュバ衝突事案

政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

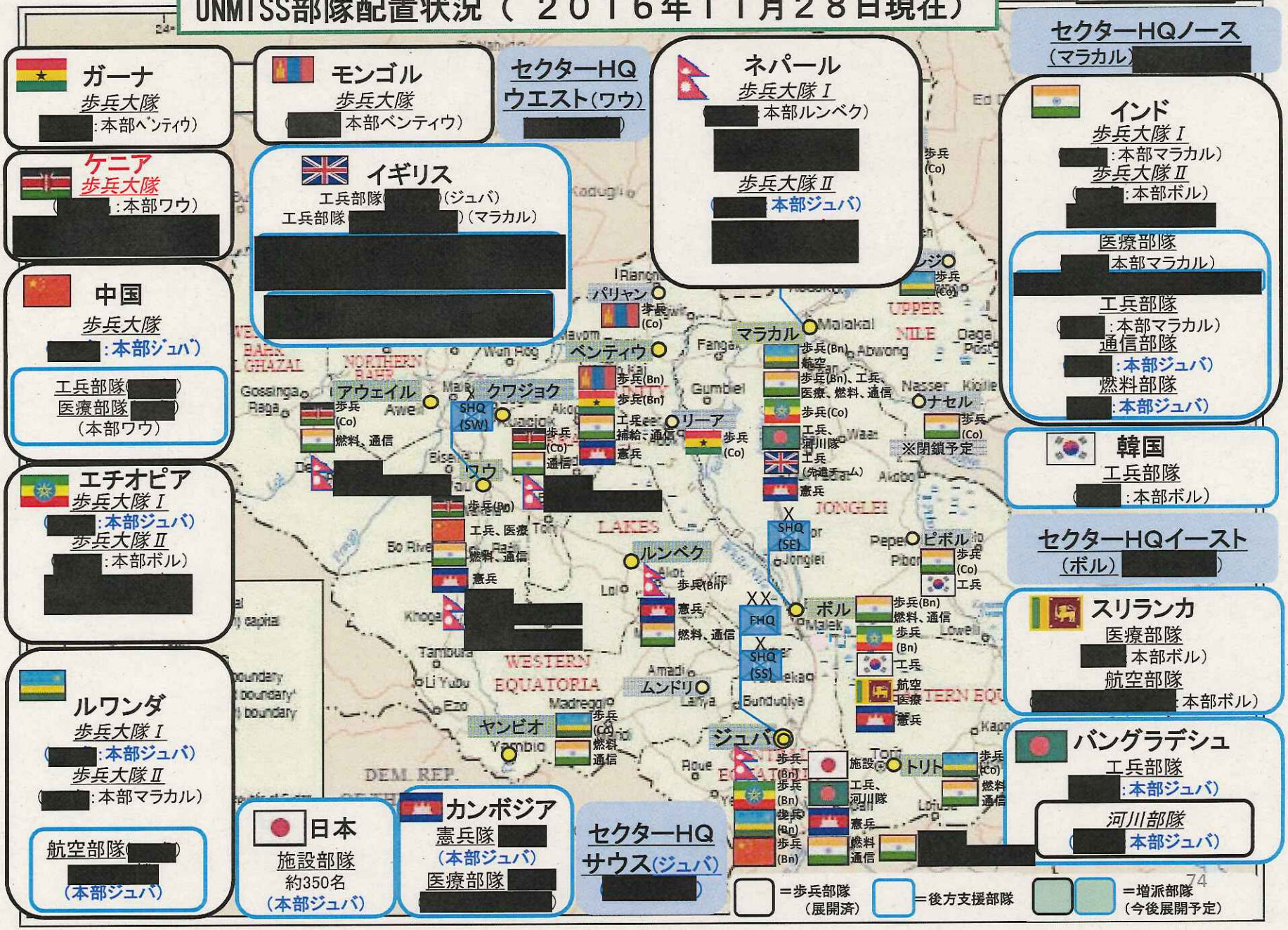
関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化（我の移動制限）
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- 政府軍と地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

UNMISS部隊配置状況（２０１６年１１月２８日現在）



セクターサウス内部状況（２０１６年１１月２８日現在）

[redacted]

エチオピア
歩兵大隊Ⅰ [redacted]
[redacted]：本部ジュバ）
[redacted]

ネパール
歩兵大隊Ⅱ [redacted]
[redacted]：本部ジュバ）
[redacted]

中国
歩兵大隊[redacted]
([redacted]：本部ジュバ）

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ [redacted]
[redacted]：本部ジュバ）
[redacted]

航空部隊[redacted]）
[redacted]
（本部ジュバ）

カンボジア
憲兵隊：（本部：ジュバ）
医療部隊：（本部：ジュバ）

日本
施設部隊
（約350名：本部ジュバ）

バングラデシュ
施設部隊[redacted]（本部：ジュバ）
河川部隊[redacted]（本部：ジュバ）

インド
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ（本部：ボル）
[redacted]

指揮[redacted]
（本部；ジュバ）
[redacted]

＝増派部隊
＝後方支援部隊

28．11．28
1 8 0 0 c

人員現況（第１０次要員）

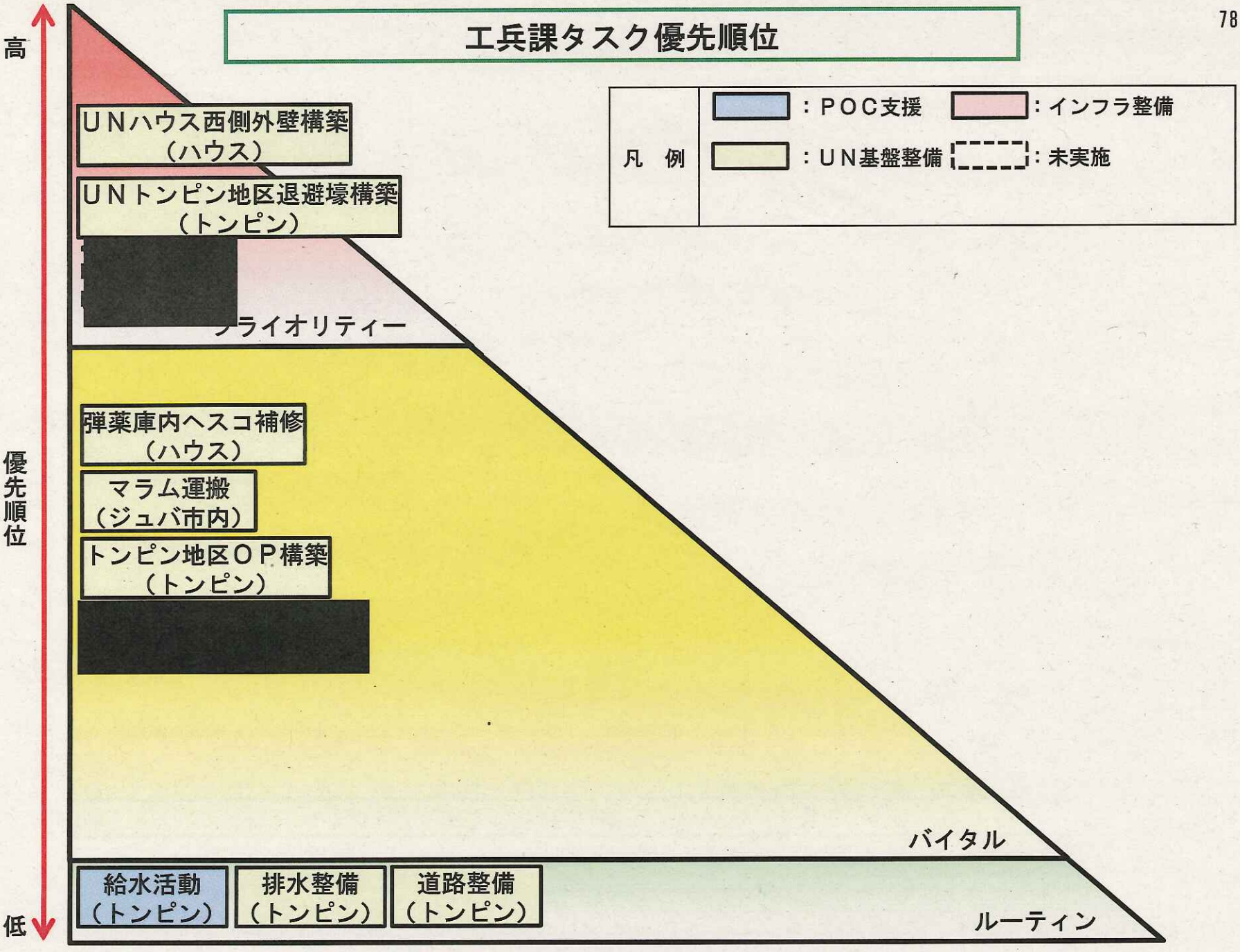
場所	部隊		総員	内訳 幹部(O)	内訳 准曹(WS)	内訳 陸士(P)	現在員	事故	理由
ジュバ	隊本部		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	ウガンダ出張：２名 帰国第１波：７名
	本部付隊	付隊本部	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	
		隊本部班	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：８名
		整備班	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：９名
		補給班	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：１５名
		通信班	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：３名
		衛生班	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：１名
		営繕班	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：２名
	施設器材小隊		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：１５名
	第１施設小隊		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：１４名
	第２施設小隊		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：１４名
	第３施設小隊		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：１０名
	警備小隊		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	帰国第１波：１２名
	情報班		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	
	警護班		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	
	派遣警務班		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	
合計			295	64	219	12	183	112	３８

28. 11. 28
1 8 0 0 c

人員現況（第１１次要員）

場所	部隊		総員	内訳 幹部(O)	内訳 准曹(WS)	内訳 陸士(P)	現在員	事故	理由
ジュバ	隊本部		[redacted]						
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							
		整備班							
		補給班							
		通信班							
		衛生班							
		営繕班							
	施設器材小隊								
	第１施設小隊								
	第２施設小隊								
	第３施設小隊								
	警備小隊								
	情報班								
	警護班								
	派遣警務班								
合計			129	46	82	1	129		

工兵課タスク優先順位


高
優先順位
低
凡　例
：POC支援
：インフラ整備
：UN基盤整備
：未実施
UNハウス西側外壁構築
（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築
（トンピン）
[redacted]
プライオリティー
弾薬庫内ヘスコ補修
（ハウス）
マラム運搬
（ジュバ市内）
トンピン地区OP構築
（トンピン）
[redacted]
バイタル
給水活動
（トンピン）
排水整備
（トンピン）
道路整備
（トンピン）
ルーティン

２０１６年１１月２８日タスク等現況（１／２）

凡　例	：POC支援	：インフラ整備	：UN基盤整備	：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	UN基盤整備	1	UNハウス西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施計画	[redacted]			
492	UN基盤整備	2	UNトンピン地区退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施計画				
515	UN基盤整備	3	弾薬庫内ヘスコ補修	UNハウス	ヘスコ補修	実施計画				
500	UN基盤整備	4	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日累計				
476	UN基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	UNトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施計画				工兵課の指示待ち
325	POC支援	6	給水活動	UNトンピン	給　水					
471	UN基盤整備	7	排水整備	UNトンピン	排　水					
459	UN基盤整備	8	道路整備	UNトンピン	道路整備					

２０１６年１１月２８日タスク等現況（２／２）

凡　例	：ＵＮ基盤整備	：インフラ整備

２　未実施

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
456	ＵＮ基盤整備		[redacted]	ＵＮトンピン	[redacted]		[redacted]			
513	インフラ整備		[redacted]	[redacted]	[redacted]		[redacted]			

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
５２２ （５０９）	プライオリティー	１６	
	バイタル	８０	
	ルーティン	３	
	計	９９	
		完　了	８９
		実施中	８
		未実施	２

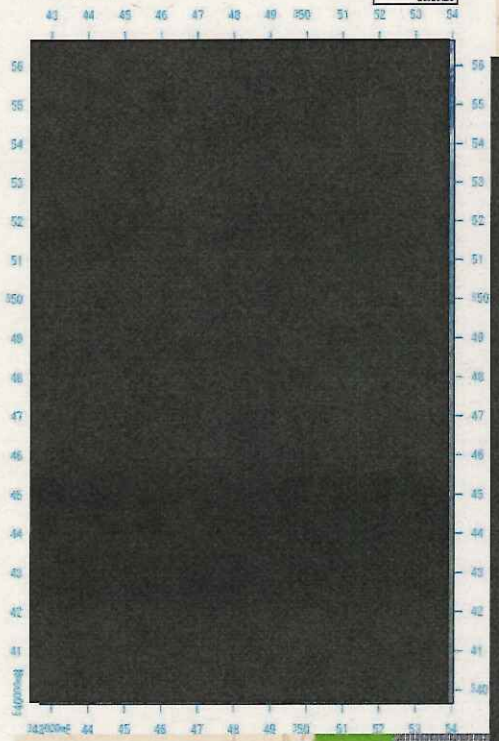
地域脅威レベル評価（２０１６年１１月２８日現在）

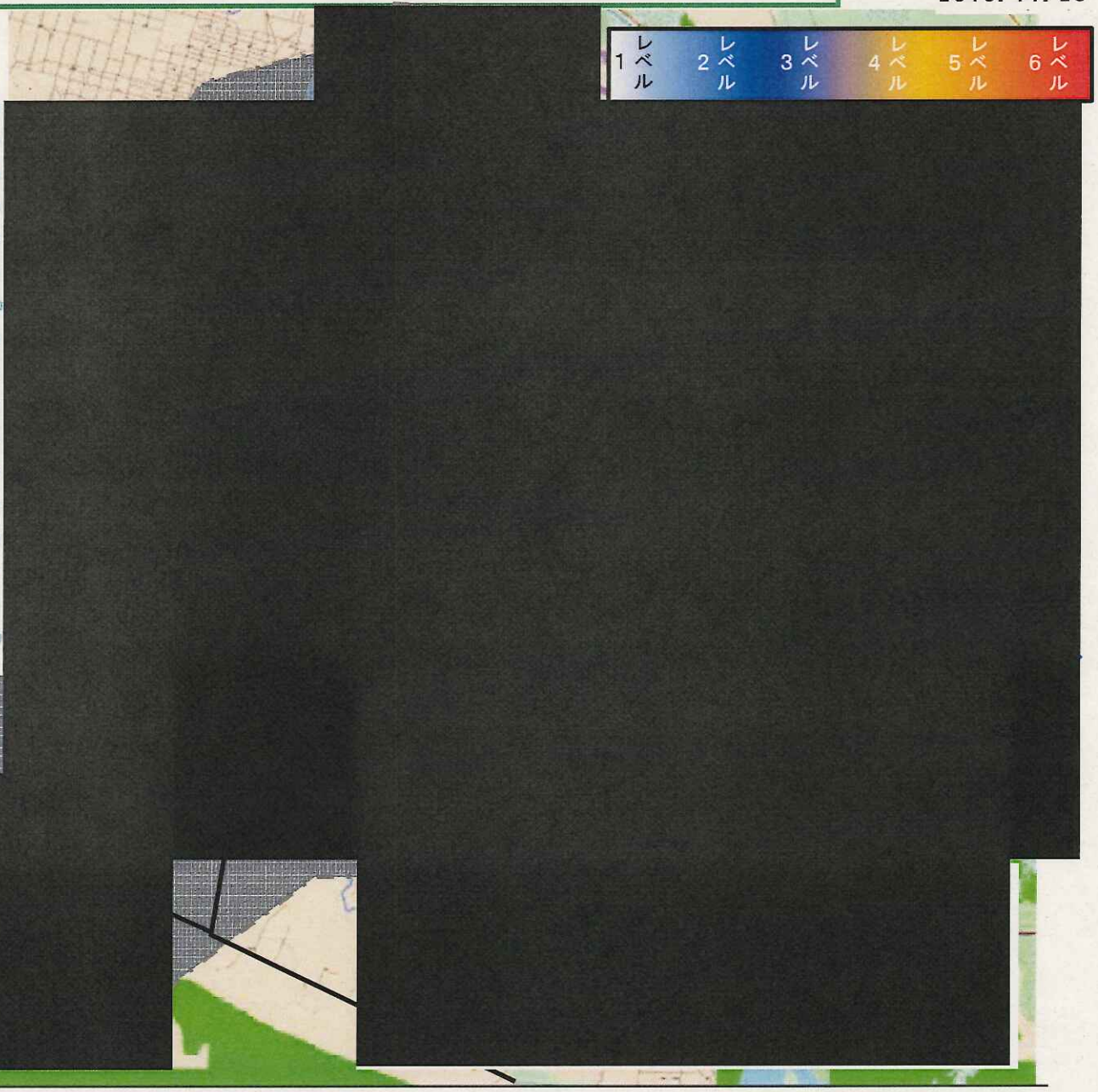
R1
2016.11.28

1:80,000

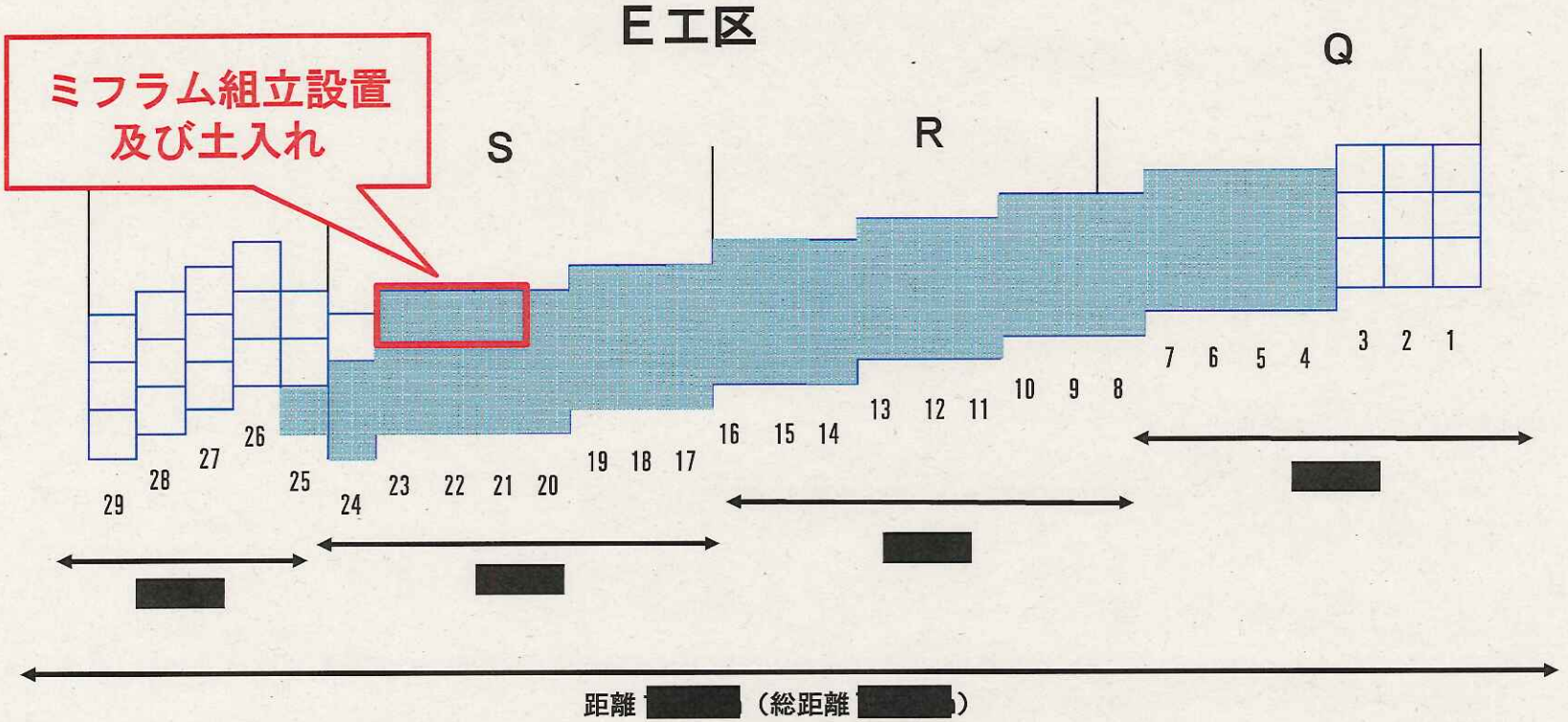
マラム採掘場

#10UNMISS S-2
28.10.26





ＵＮハウス西側外壁構築（２０１６年１１月２８日現在）



凡例

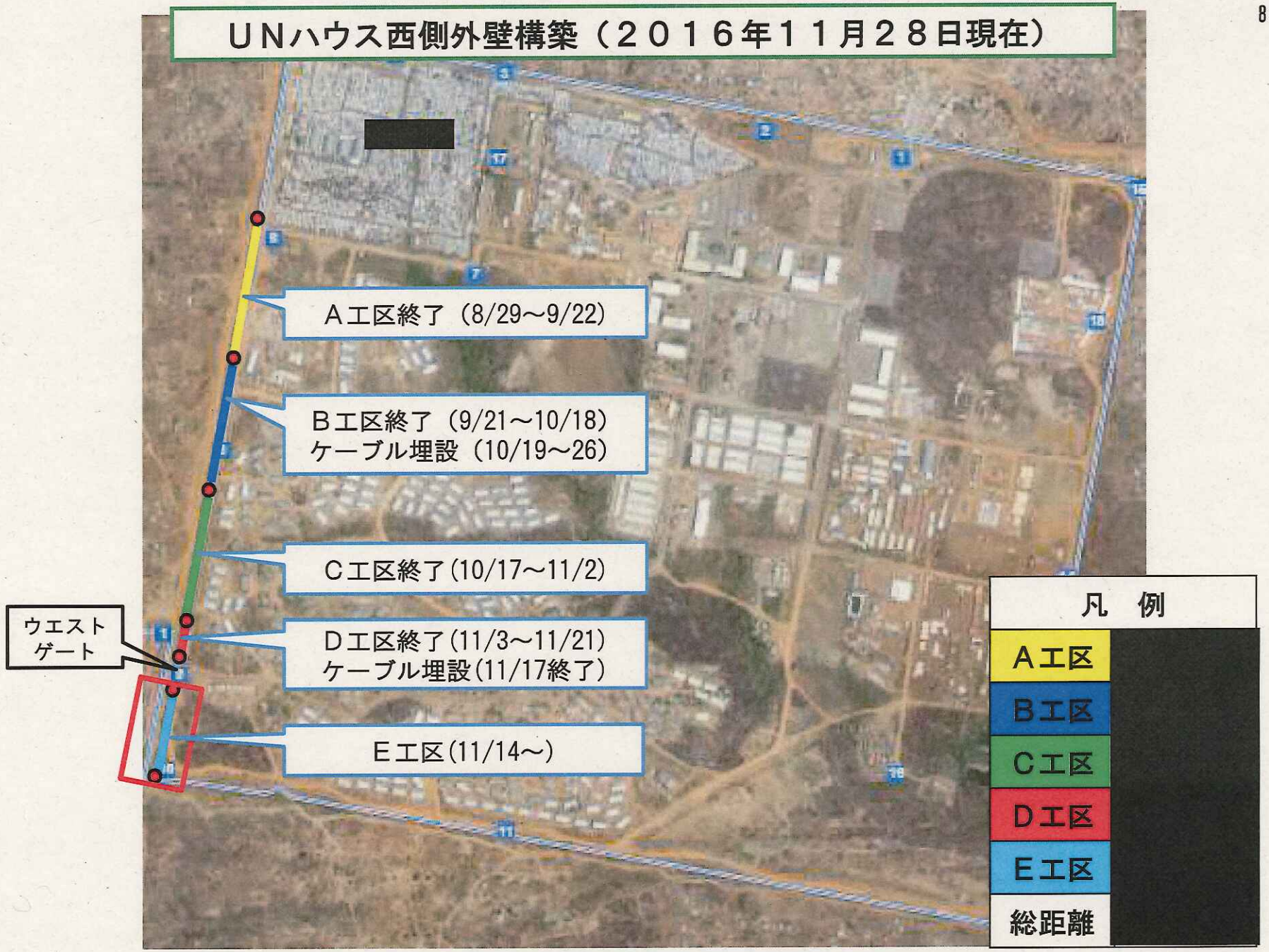
- ミフラム設置
- 型枠設置箇所
- 空ミフラム設置箇所
- 本日作業箇所

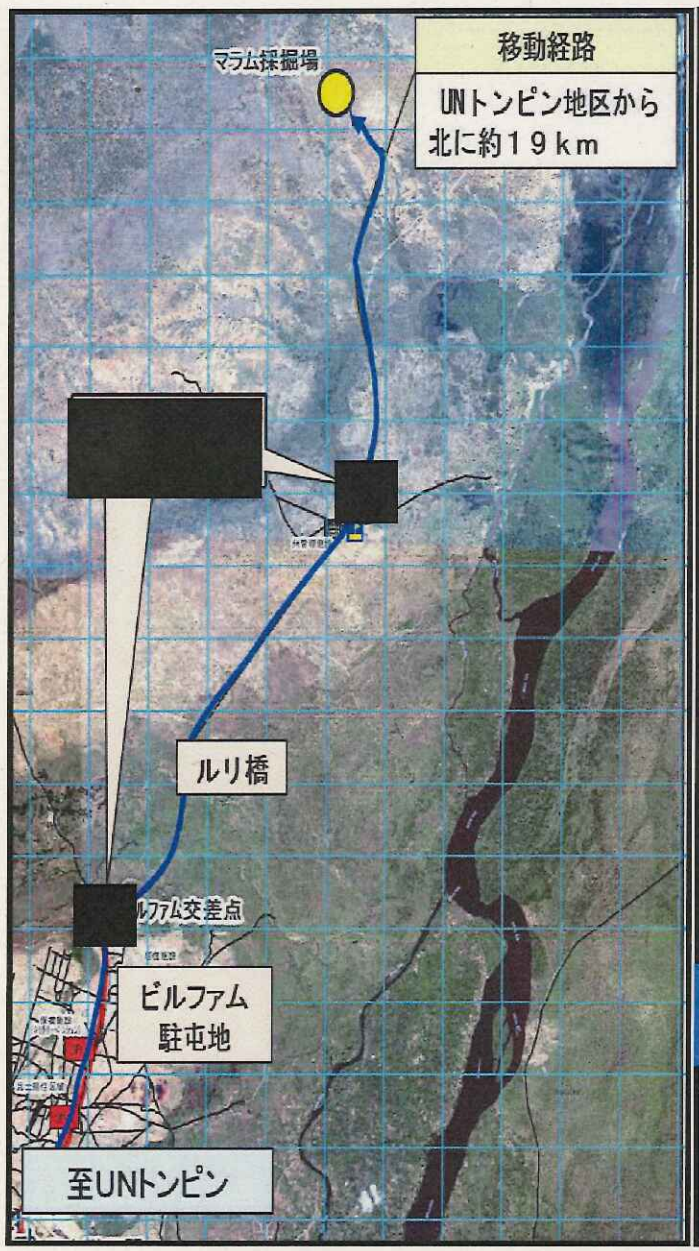
成果

ミフラム設置 [redacted]

※　赤字：作業完了により変更部分

ＵＮハウス西側外壁構築（２０１６年１１月２８日現在）





全　般

○　本日のマラム運搬は１回計画・実施
○　チェックポイントにおけるＳＰＬＡの感情は比較的良好な模様

区　分	ＡＭ			
	ＵＮトンピン発	マラム採取場着	マラム採取場発	ＵＮトンピン着
計　画	０９２０ｃ	１０５０ｃ	１１１０ｃ	１２５０ｃ
実　施	０９０７ｃ	１０３８ｃ	１１３４ｃ	１３２３ｃ

成果（本日）

[redacted]

実績（延べ）

[redacted]

編成・装備

○　編　成
施設器材小隊長以下１５名[redacted]

○　装　備
・　車両：特大型×４両、高機動車×２両
（計６両[redacted]

○　梯隊区分
バングラ隊及び派遣施設隊により実施
（バングラ隊２両、派遣施設隊６両）

[redacted]

検問等の状況

○　[redacted]
○　手振り反応あり

その他

○[redacted]
○[redacted]

隊員服装・装備等基準

区　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考			

警備の態勢 [redacted] （１１月２８日１７００現在）

[redacted]

活動写真

UNハウス西側外壁構築
（第２施設小隊）

UNハウス西側外壁構築
（第２施設小隊）

UNハウス弾薬庫内ヘスコ補修
（第３施設小隊）

UNハウス弾薬庫内ヘスコ補修
（第３施設小隊）

活動写真

UNタスク（UNトンピン）
第１波帰国関連業務
（輸送調整）

UNタスク（宿営地）
第１波帰国関連業務
（輸送調整）

自隊計画（宿営地）
[redacted]
曹士朝礼

自隊計画（UNトンピン）
[redacted]
物品管理検査
（担当者会同）